米沢興譲館高等学校
体育文化後援会
会報

第 53 号
令和５年３月１日
山形県立米沢興譲館高等学校
体育文化後援会事務局
㈱川島印刷

Withコロナ下における体育文化活動

体育文化後援会会長　小島　長五郎

平素は体育文化活動に関しまして、教職員並びに保護者の皆様・部活OB連合会様・賛助会員様それぞれに、物心両面に渡りご支援ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、新型コロナ感染症が初めて日本に上陸してから早くも三年目を迎えました。

その間生徒さんの部活動も制限され、各種目の大会も限定され、部活を指導頂いている教職員はじめ多くの指導者の皆様、そして保護者の皆様もやるせない閉塞感に苛まれた事と存じます。出口は未だ見えて来ませんが、いずれコロナ禍から解放される日は必ず訪れます。その時の為に、今しなければ成らない事を確りと行う。例えば少ない限られた練習時間、限られた部活動時間を有効に活かす工夫。少ないコミュニケーションでも意思疎通が出来る工夫。その工夫考え方を実践できた三年間は、文武両道を旨とする興譲館にとっては大変有難い時間と考えるべきでしょう。昨年の生徒の活躍を下記に列記します。

運動部では、フェンシングが女子団体、個人男女でインターハイに出場し、ホッケー女子は東北総体県選抜チームに六名が加わり優勝し、本国体にも出場しました。スキーは地元山形インターハイ出場の他、国体・全国選抜にも県代表として出場します。また、フェンシングは、北海道・東北予選で優勝一種目他二種目、全国選抜への出場を決めています。文化関係では、美術・新聞文芸が全国高総文祭に出場した他、サイエンスキャンプやサイエンスキャッスル、模擬国連等、様々な分野で東北・全国で優秀な成績を収めています。

以上コロナ禍での生徒の活躍は本当に素晴らしく、其々の部が文武両道を旨とする本校建学の精神に恥じない、立派な活躍をしてくれました。

体育文化後援会は、これからも生徒が安心して部活動に励むことが出来るように、また、教職員の皆さんが安心して指導できる環境を作れるようにと役員一同力を合わせて活動して参ります。会員の皆様並びに同窓会の皆様には更なるご支援をお願い申し上げ、挨拶と致します。

競争心・向上心

校長　曽根　伸之

体育文化後援会各位には、本校生の体育文化活動の振興に物心両面のご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、毎年ご支援を頂戴しております賛助会員の皆様、同窓会会員の皆様にも、この場をお借りし、改めて感謝申し上げる次第です。

今年度十二月県高体連発行の広報誌『高体連ニュース』には、「県高等学校新人体育大会ホッケー男女　米沢興譲館アベックV　男子は初優勝」の大見出しで、本校ホッケー部の活躍を報じています。「男子学校対抗では、…ホッケーの米沢興譲館は初優勝を果たした。…女子学校対抗においても、米沢興譲館はホッケーで六年ぶりに優勝。初優勝した男子とのアベックVを達成した」と、その成績を称えていただいています。ホッケー部は、日々米沢商業高校ホッケーコートに移動し、限られた時間を有効に活用しながら練習に努めています。また、県外への遠征がコロナ禍で必ずしも万全とはいえない昨今の状況にも倦むことなく取り組んできた成果が、ここに花開いたと喜んでおる次第です。女子は、夏のインターハイで米商が全国三位に入賞し、常に身近にいるライバルから「全国トップレベル」の力を感得しえたことも大きなプラス要因であったと思います。国体チームでも二校から選抜された選手が力を高めあって戦い東北総体優勝を勝ち取りました。これが、男子チームの「なせばなる」との思いに火をつけ、相乗効果を生んだといってもよいでしょう。同時に、二〇一七年の南東北インターハイ前年の米商ホッケーコート改修整備以来六年が経ち競技力の底上げが着実に進んできたことを証明したこの度のアベック優勝ともいえるかと思います。

運動部活動に限ったことではありませんが、常に自分たちのライバルとの競争心に燃え、日々互いを意識しあいながら練習に励むことは、殊に高校生という若い世代が自発的かつ自律的な成長を遂げる上で、たいへん意義あることです。それは、チーム内においても、互いを認め合い、意識しあう中で、「負けたくない」という極めて素朴な向上心の原動力によって、いつかしら、ライバル同士がともに、それぞれの目指す高みにたどり着くということもままあることです。

一言でいえば、飽くなき向上心、高い志の持続は、ライバルとの出会いに大きく左右されるのです。

今年は、フェンシング男子も今年は県高校新人で三年ぶりに県王者に返り咲きました。女子バスケットボール部は、春の地区総体で十四年ぶりという優勝を果たしました。また、たとえ、そのような順位には結びつかなくとも、本校で部活動に励む生徒各々が心に抱いた競争心、そして、人知れず流した悔し涙も含め、部活に賭けた時間のすべてが、高校生活のかけがえのない勲章です。

さて、前述の『高体連ニュース』では、本県開催の第七十二回全国高等学校スキー大会（山形スキーインターハイ）出場の三年落合創太君が、「生まれ育った山形の空を、県代表として飛べることの誇りを持ち、大会に携わってくださる方々に感謝」しながら、「最高の飛躍」への誓いを堂々と述べてくれました。学習との両立を果たしながら、県内外のライバル選手とともに夏場からの地道な練習や遠征に励んできたからこそ、自分のベストを尽くせるとの確信を身につけることができるのだと思います。本校において、「文武両道」という、古くて新しい言葉が、今も、このような数々の生徒の三年間によって実証されていることは、何事にも代えがたい喜びです。

結びに、ご支援を頂戴している体育文化後援会会員や賛助会員の方々を始めとする地域の皆様に改めて感謝申し上げ、本会の益々のご隆盛と会員諸氏のご健勝をお祈りし挨拶とさせていただきます。

令和四年度　事業報告

1　理事・幹事合同会議
令和四年四月二十一日㈭　本校会議室
・令和三年度事業報告（案）
令和三年度決算報告（案）
・令和四年度役員構成（案）
・令和四年度事業計画（案）
令和四年度予算（案）

2　総　会
令和四年四月二十八日㈭　本校講堂
・令和三年度事業報告
令和三年度決算報告
・令和四年度役員構成について（案）
・令和四年度事業計画（案）
令和四年度予算（案）

3　地区高校総体壮行式
令和四年五月十二日㈭　本校講堂

4　県高校総体等壮行式
令和四年五月二十五日㈬　本校講堂
・会長激励

5　全国高校総体等壮行式
令和四年六月二十八日㈫　本校講堂
・会長激励

6　懸垂幕の掲揚
令和四年八月
・本校正面・北校舎

7　地区高校新人等壮行式→県高校新人等壮行式
令和四年九月二十九日㈭　本校講堂
・時期をずらし、県高校新人前に実施

8　賛助会員募集・会費納入依頼
令和四年十月吉日
・依頼文郵送によるお願い

9　体育文化後援会表彰
令和四年十二月二十三日㈮　本校講堂
・二活動の十一名を表彰

10　会報発行
令和五年三月一日㈬
・一般・特別・賛助会員に配付

11　大会・強化遠征等への補助

12　施設整備

白布マラソン
「忘れ得ぬ思い出」
ダメなクラスの「優勝」

土澤幸雄
（昭和二十八年度卒）

数年前、白布マラソンについて寄稿していますので、この度は、いささか私事になりますが、標記について記します。

私は、新採教師として、昭和三十二年四月一日、母校米沢興譲館高校に赴任、初めてのクラス担任が、昭和三十五年四月一年五組。このクラス運動関係全くダメ。クラスマッチ等全敗。

しかし、白布マラソンは、「クラス全員の勝負」。マラソン高得点（つまり下位者）を少なくすれば何とかなる。生徒と話し合い…クラス奮起、帰宅してから自宅周辺の夜道を走っていた者もおったとか…。

結果、なんと、僅差で一年五組全校優勝。クラス全員、まさに「一致団結」の証。

教室が二F、教室の下が全校生の昇降口（玄関）、そのせいか、その玄関の上の一の五の教室は、かなり広かった。後方が空いていた。生徒は、それをいいことにして、掃除用のホーキをバットに持って、バッティングの遊び、時々ガラス窓を破る…。

一年終了時の、思い出のクラスの文集、その「名」は誰が付けたか「破れガラス」。

若き教師の思い出の一コマでした。

まさに散文にて失礼します。

体育文化後援会 表彰者一覧

no	活動名	組	氏名	活動成績
1	フェンシング部	３－２ ３－４ ２－２ ２－２ ２－３	相田寿姫 遠藤ゆきの 髙橋里奈 寒河江理名 五十嵐舞衣	第46回東北高等学校選抜フェンシング大会 北海道・東北予選会 学校対抗　女子エペ 第２位
2	ホッケー部	３－４ ２－２ ２－２ ２－３ ２－４ ２－５	山田江里子 田中暖乃 加藤寧々 色摩瞳美 浦田琉名 鈴木悠華	第49回東北総合体育大会ホッケー競技 少年女子（山形県選抜チーム） 第１位

上級大会出場者から

目に焼きつけた最後の一矢

弓道部　船山　諒

私は、六月に行われた東北高校弓道選手権大会に団体メンバーとして出場する機会を得ることができました。先輩方にとっての最後の試合だったので、共に戦えて本当に光栄でした。

予選通過が懸かった一戦、先輩方からは筆舌に尽くしがたい気概を感じました。十人十色の弓道への強い意志をもち、それでいて軌を一にする思いが収斂していた、あの空間の凄みのある雰囲気は今でも忘れられません。

結果は女子がベスト８、男子は予選敗退でした。試合では負けてしまいましたが、これまでの部活動を振り返り、今後の目標を明確に定める契機となったので、悪い経験ではなかったと考えています。

これからは、先輩方の雄姿から学んだ不撓不屈の精神を心に刻み、日々邁進したいと思います。目標は、先輩方を超え全国大会の舞台に立つことです。

東北大会に出場して

陸上競技部　小野　陽平

私は昨年度開催された東北高校新人陸上選手権大会に五〇〇〇ｍ競歩で出場してきました。結果は十九人中十二位でしたが自己ベストを出すことができました。

競歩とは単に歩く速さを競う競技ではありません。反則三回で失格という制約があります。反則にはベントニー（ひざを曲げて地面に接地する）とロスオブコンタクト（両方の足がともに地面から離れる）の二種類があります。約二十五分という長時間を歩かなければならないことや失格の存在で精神的につらい競技になっています。

一年生の頃は独学でやっていましたが二年生からタイムの伸びに限界があると感じ、ツイッターで参加者を募っていた山形競歩の練習会に参加しました。そこには社会人大学生だけでなく大会で共に戦う高校生もおり、正しいフォームを教えてもらう、自分で研究する、を繰り返し、自己ベストは三分も伸びました。参加してよかったと心から思います。

支えてくださった皆様ありがとうございました。この経験をこれからの生活に生かしていきたいと思います。

東北大会に出場して

水泳部　上田　一樹

七月十九日から三日間岩手県盛岡市で行われた東北大会に出場してきました。昔からの憧れだった舞台に一年生で出場できたことはとても嬉しく、練習にも普

段以上に力を入れて取り組みました。

会場はコロナ禍の影響で声を出しての応援はできませんでしたが、熱気に包まれていました。他県の選手の凄まじく速い泳ぎや鍛えあげられた身体に圧倒され、緊張感も増してきました。そのせいかニ〇〇メートル・一〇〇メートル平泳ぎ共に、前半からおもいきって泳ぐことができず自分のペースを崩していまい、悔しい結果を持ち帰ることとなりました。

この経験を活かして練習に励み、次の大会で満足のいく結果を残せるようにしたいです。顧問の先生への感謝の気持ちを忘れず、仲間とともに精進していきたいです。

インターハイに出場して

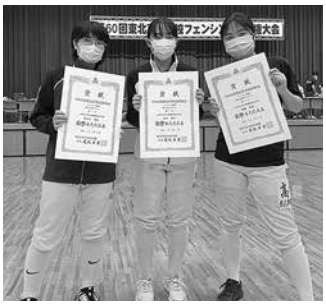
フェンシング部　相田　寿姫

今年は香川県でインターハイが開催されました。フェンシング部に入部した頃から目標とし続け、憧れであった個人、団体ともにインターハイの出場権を得ることができ、本当に嬉しかったです。

私たちはインターハイをはじめ、様々な上位大会に向けて互いに高め合い切磋琢磨して練習してきました。チームで協力したり話し合ったりしたことにより部長としての責任感や視野を広く持つことを身につけることができたと思います。また、顧問の先生方や興譲館フェンシング部ＯＢ・ＯＧの方々などのご指導のおかげで大きく成長できたと思います。

インターハイ当日はとても緊張しましたが、三年間の努力を全て出し切ることが出来ました。

コロナ禍で多くの制限があった中で大会を開催していただいたこと、一番のライバルであり最高の仲間と出会いフェンシングができたこと、いつも応援してくれる人がいたこと、この全てに感謝しています。本当にありがとうございました。



全国選抜大会東北予選に出場して

男子ホッケー部　部長　渡部　晴也
副部長　齋藤　誉生

私たちは十一月十一～十四日の日程で福島県にて行われた東北大会に参加しました。私たちの目標は全国選抜大会出場。つまり、東北大会で二位以上になることです。この東北大会では県大会などとは異なり、各校の三年生も出場することができるため、一、二年生で挑む私たちにとって少し厳しい戦いとなります。私たちは、その差を埋めるために圧倒的基礎力と連携力に力を入れ練習に取り組みました。圧倒的基礎力では、部活初めにするアップをただのアップだと思わず試合をイメージし、パスの俊敏性、正確性、レシーブの安定性を上げるよう練習し、連携力については、パスワークを意識した一体感のあるプレーを目指しました。また、今よりこうするほうがいいと互いに意見を出し、より良いプレーの開拓に励みました。しかし、結果は一回戦敗退。力の差を感じる結果となりました。しかし、取り組んできた成果や個人の上達を感じることができました。春、総合力で勝るために今後も基礎力、連携力共に強化していきたいと思います。

マリンチャレンジプログラム
北海道・東北大会に参加して

ＣＳＳＣ　佐藤　充朗
佐藤　大空

今年度、私たちは「マリンチャレンジプログラム」に応募し、「マリンチャレンジプログラム認定研究」として『白竜湖産コイのミトコンドリアＤＮＡの簡易識別と新規プライマーの作成』というテーマで研究を進めてきました。研究内容は、南陽市にある白竜湖にて、湖内に生息するコイの系統判別を行うというものです。自分たちの地域に生息する在来魚類の保全に貢献したいという思いから二人でこの研究を始めました。

実際研究にとりかかると自分たちの知識不足や見通しの甘さを痛感しました。実験は失敗が続き、八月十日に行われた北海道・東北大会までには思うような結果を残すことができませんでした。しかし、失敗の原因を考え試行錯誤を繰り返したことは、今後の研究に生きる良い経験になったと思っています。また、大会当日は他の参加チームと交流したり審査員の方などからアドバイスを頂いたりする機会がありました。この場で知ったことや感じたことはこれからの研究意欲に繋がりましたし、人との様々な繋がりを持つことができて良かったです。そして、夏の大会を経て、研究内容をさらに発展させ、他の研究発表会で発表を行うこともできました。これまでの経験を糧に、今後も意欲的に研究を続けていきます。

グローバルサイエンスキャンパス
令和四年度全国受講生発表会に参加して
～心躍る学びと今後への決意～

ＣＳＳＣ　安齋穂乃花

私は、東北大学科学者の卵養成講座重点コースにおいて「動物の捕食行動にか

かわる遺伝子の研究」を行っている。これは、ネコに襲われた際のマウスの防御行動についての研究だ。マウスはネコに襲われると、フリーズや逃避などの防御行動をとる。そして、ネコの唾液に含まれるタンパク質であるFeld4によって、マウスの防御行動が決まる。ネコによる襲撃とマウスの防御行動の関係を明らかにするために、私はFeld4を遺伝子の側面から調査している。共同研究先のカリフォルニア大学リバーサイド校では、Feld4をタンパク質の側面から調査し、協力して研究を進めている。

先日、本研究をグローバルサイエンスキャンパス令和四年度全国受講生発表会で発表した。研究発展コース在籍時（一年生）から行っている研究なので、多くの方に本研究を発表できる機会をいただけて本当に嬉しかった。発表会では、知的好奇心と高い志をもつ全国の高校生の皆さんと出会うことができた。ハイレベルで興味深い研究がたくさんあり、心躍るひとときだった。また、受講生投票賞をいただいた。受講生の皆さんに研究への私の想いが少しでも伝わっていたら嬉しい。全国の高校生の皆さんに大変刺激を受けたため、今後も学校での研究活動や東北大学での研究など、様々な研究活動に邁進していきたい。

サイエンスキャッスル２０２２東北大会に参加して

CSSC　上野　能登

私たちは、中高校生のための学会である「サイエンスキャッスル２０２２東北大会」に参加して、これまで研究してきたことをポスター発表、口頭発表の形式で発表しました。大会の結果として「ゼーベック効果を用いた太陽光発電の高効率化」が最優秀賞、「環境ＤＮＡを用いたキタノメダカ（*Oryzias sakaizumii*）とミナミメダカ（*Oryzias latipes*）の生息域調査および分布マップ作成」と「ゼラチンを用いたＤＮＡ抽出法」が優秀賞、「雪国仕様フレキシブル熱電変換素子を指向した新規半導体高分子の開発」がポスター優秀賞をいただきました。今回の参加によって大学の先生方や同じ中高生研究者の方々など幅広い立場の方々からフィードバックをいただきました。また、発表のなかった部員も多くのハイレベルな発表を見て刺激を受けることができました。この経験を今後につなげて更に研究を発展させていきます。最後になりますが本学会を通して協力していただいたすべての方々に感謝申し上げます。

ロールス・ロイスサイエンスキャンプ２０２２東京本選に出場して

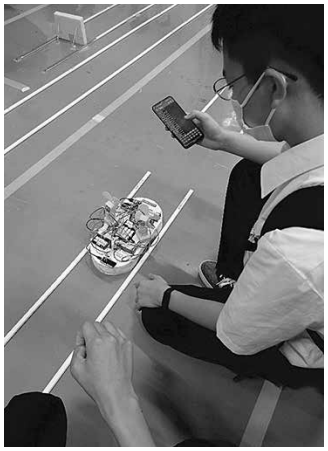
CSSC　鑓水　大青

私たちのチームは、ロールス・ロイスサイエンスキャンプ２０２２オンライン予選会を二位で通過し、東京本選（全国大会）に出場しました。本大会は、各チームが製作したホバークラフトを使用して行われ、貨物輸送能力やエネルギー効率、プレゼンテーションの面から評価されるものです。

ホバークラフトの製作においては、浮上用や推進用のファンの数やモーターの数が制限され、そのなかで機体をプログラミングによって一八〇度方向転換させる技術が求められました。超音波センサーを用いての方向転換が一般的ですが、私たちはBluetoothによるスマホ操作により推進用ファン自体を回転させることに成功し、センサーの性能に頼らない、人の手を使った操作により、臨機応変な対応もできるような機体を作りました。

このような独創的な発想やプレゼンテーションでの大会に対する熱意が大きく評価され、「アイデア賞」を頂くことができました。

本大会にご協力頂いた全ての方々に感謝申し上げます。



全国高等学校総合文化祭、北海道・東北文芸大会に出場して

新聞文芸部　石井倖之介

私は今年度、全国高校総合文化祭東京大会と、北海道・東北文芸大会秋田大会に出場しました。いずれの大会も、新たな刺激を受け、作品創作の意欲がかき立てられる良いきっかけになりました。

全国高校総合文化祭では、文学研修が印象的です。近代以降、常に日本の文化の中心地であり続けている東京ならではの貴重な体験となりました。全国の言葉を紡ぐ高校生たちとの交流も、新たな発見にあふれた充実した時間でした。

北海道・東北文芸大会での、歌人・浅野大輝氏による講演「新・良い短歌のつくりかた：だれかとともにある短歌論」は「なぜ詠むのか」「どのように詠むのか」を問い直す、大変有意義なお話で、短歌をつくる楽しさを再認識できました。

入部以来、特に深く考えずにつらつらと、文章を書いたり、短歌を読んだりしてきましたが、そんな心地良い日々も残すところあと数ヶ月となりました。新聞文芸部員として、最後まで、大会での経験を創作に活かしていきたいと思います。

令和四年度 部活動 活動報告

文化部

◇美術部

顧　問　佐々木綾子
前部長　江袋晴菜
現部長　西長里恵
　　寒河江晴香

今年度の美術部は、昨年度と比べ新型コロナウイルスの影響が少なく、多くの活動に参加することが出来ました。美術部ＯＢ合同展覧会では、たくさんの方々が足を運んでくださり、見て頂くことができました。八月には、置賜地区高校美術展に参加し、一人が特選、二人が奨励賞をいただきました。十月は県高校総合文化祭に参加し、三人が奨励賞をいただきました。どちらも結果を残すことができました。また、他校の生徒の作品を見て、様々なことを感じ、学んだことで、今後の作品制作につなげることができたと思います。また、来年度に米沢市で行われる県高校総合文化祭の展示会ポスター制作に全員で取り組みました。一人ひとりが課題に真剣に取り組み、作品制作への意欲をあげることができたと思います。加えて、今年度も学校行事の冊子の表紙を制作させていただきました。

昨年度と同様に今年度もたくさんの活動に取り組むことが出来ました。一人ひとりの画力、表現力の向上に繋げられたと思います。これからも様々な活動に励んでいきたいと思います。

◇新聞文芸部

顧　問　藤原洋子
　　遠藤優美子
前部長　髙橋ののか
現部長　石井倖之介

新聞文芸部　充実の一年

四月に九人の新入部員を迎え、今年度の活動が始まりました。部員全員の努力と協力の甲斐あって、部として大きく成長できた一年でした。

文芸班は、三年生の引退後も、三名の一年生が創作に励んでいます。部誌づくりにも精力的に取り組んでいて、頼りがいがあります。作品が県高校文芸コンクールの詩部門で佳作に選ばれた部員もおり、今後の活躍に目が離せません。

新聞班のほうは、書き手が一気に三倍になり、記事のレパートリーも増えてきました。県高校新聞コンクールでは二年連続となる優良賞を受賞することができ、今後の紙面づくりの励みになっています。

また、今年度はたくさんの大会や研修会への参加が叶いました。来年度以降も、そういった機会を大切にしていきたいものです。

来年度も細々と、しかし脈々と、活動を続けていきましょう。

◇音楽部

顧　問　山口英雄
　　落合祐
前部長　鈴木唯希子
現部長　遠藤綾乃

部員は少なくても

私たち音楽部は、主に学校外で様々な活動をしてきました。

そんな私たちは、常にある問題と隣り合わせでした。タイトルにある通り、部員が少ないのです。一つのパートを一人で担当することも多かったほどです。しかし悪いことだけではありませんでした。

人が少ない分、お互いの仲は良かったのです。一緒に遊べる仲というだけでなく、練習中に気楽に意見を出し合えるなど、先輩後輩の壁はあまりなかったように感じます。部員は少なくても、良い部活だったと思います

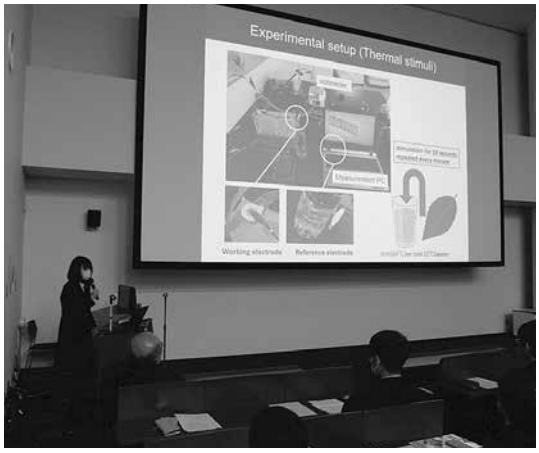
これからの活動内容は未定ですが、引き継ぎのことも考えないといけません。後輩には、今のような部活で良いので続けていって欲しいなと思います。

◇CSSクラブ

顧　問　髙橋渉
　　山口大輔
　　江袋晴菜
　　山下慶信
　　三浦玄太
前部長　伊藤千紘
　　井上桃希
現部長　上野能登

一年の部活動を振り返って

今年度の主な活動は、イノベーター育成塾への参加による研究、グループ・個人研究、各種学会等での参加と発表、さまざまなコンテストへの参加等です。イノベーター育成塾では、それぞれ研究室に配属されて、最先端の専門研究を山形大学工学部の先生方のご指導のもと行いました。令和四年度山形県探究型学習課題研究発表会で二つのテーマが優秀賞をいただき、全国大会への切符を手にしました。さらにコンテストへの参加や学会



発表を積極的に行い、サイエンスキャッスル２０２２東北大会での最優秀賞や優秀賞の受賞をはじめとして研究成果の受賞やロールス・ロイスサイエンスキャンプ２０２２のアイディア賞受賞など数多くの賞を受賞しました。

◇ESS部

顧　問　向田智弘
前部長　舟山知美
現部長　齋藤映斗
　　髙橋陽菜

私達は、十月二十五日に開催された高校生英語ディベート大会山形県大会、そして十二月十七日十八日に開催された、全国大会に出場しました。英語ディベート大会とは、指定されたトピックについて英語で討論をする大会です。県大会では、新型コロナウイルスにより、メンバーの一部がオンラインで参加し、コミュニケーションがうまく取れないこともありましたが、そんな状況でも勝ち進むことができました。全国大会では前夜まで準備をして、チームで試合に向き合っていきました。大会を通して、困難を乗り越えるという経験をすることができて良かったです。ここまで来れたのもチームのメンバーだけでなく、多くの方の支えがあったからだと思います。サポートしてくれた方々本当にありがとうございました。

◇吹奏楽研究クラブ

顧　問　土井広一
前部長　市ノ渡満与
現部長　岩田晏依
　　今村涼乃

私たちは三年生十四名、二年生十六名、一年生二十名、計五十名で活動してきました。五月には第五十七回定期演奏会を開催し、夏には全日本吹奏楽コンクール山形県大会に出場しました。コンクールに向けた練習では、部員全員でイメージづくりや意見交換を積極的に行い、本番では楽しんで演奏することができました。

後期は演奏面と行動面それぞれで目標を設定し、今年度達成することのできなかった「東北大会出場」という目標の達成に向け練習に取り組んでいます。また、コロナ禍の中でも規制が緩和されたことで、昨年度は行えなかった訪問演奏や合同練習を行うことができました。

皆様に「感動してもらえる演奏」をお届けできるよう、今後も練習に励んでいきますので応援よろしくお願いいたします。

◇調理科学部

顧　問　渡部弘美
前部長　鈴木智恵子
現部長　村山千里
　　菊地悠

新たな挑戦の中で

今年度は、沢山の挑戦をした一年でした。新型コロナウイルスによる規制が緩和され、これまでできなかったコンテストや企画に取り組むことができました。その一つは、「高校生山形のうまいもの米粉商品開発コンテスト」です。これは三年生の引退前に全員で取り組みました。班ごとにレシピを考案し、何度も試作を行いました。校内予選を通過した三チームのレシピを応募しました。その中の「ウコギ」を使った米粉クッキーが、見事県大会まで駒を進めることができました。また、三年生の引退後は興譲祭の企画に挑戦しました。飲食禁止という条件の中で、できることは何だろうと、二年生全員で話し合い「きゅうり切りコンテスト」を行うことになりました。前例のないこの企画を進めるために一・二年生で話し合いを重ねました。当日は興譲館生や保護者でにぎわい、大成功に終わりました。

この他にも、一年を通して調理活動や食物調理検定取得に力を入れてきました。日々、コロナウイルスによる影響を受けて、不自由を感じることもありますが、その中で今できる最大限のことをこれからも行っていきたいと思います。

運動部

◇陸上競技部

顧　問　落合祐
前部長　三浦玄太
現部長　中川玲子
　　舩山明莉
　　佐藤優志

ここからあと一歩

今年度の陸上部は選手三十六人、マネージャー四人の計四十人で活動をスター

トしました。県総体で最後の雄姿を私たち一・二年生に見せてくれた三年生の思いを引き継いで、現在新チームで活動しています。

去年七月から普段練習場所にしている米沢市の競技場が改修工事のため使用できなくなり、学校の敷地内での練習が中心になりました。限られた練習環境の中でモチベーションを維持することは大変でしたが、土日や夏休みに山形市のあかねヶ丘競技場で練習するなど、与えられた環境の中でできうる限りのことをして練習しています。こうした状況においても、東北新人大会に出場・入賞する選手もおり、部員全員競技力の向上に努めています。来年度の総体でいい結果が出せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

◇スキー部

顧　問　戸田顕崇
　　猪俣幸一
前部長　石黒宏治
現部長　小池公善
　　落合創太
　　伊藤そら

全国の舞台で！

今年度は、インターハイが、来年度は国体が地元山形開催で、県をはじめとする強化合宿が例年にも増して多く開催され、加えて、夏場もサマージャンプやローラースキーの各大会にも参加してきました。

県大会では、三年落合創太がスペシャルジャンプ県高校二位、二年伊藤そらはクロスカントリー県高校クラシカル二位、県選手権フリー三位、国体県予選少年女子クラシカル二位という結果でした。

これらの結果により、スペシャルジャンプ落合創太は、大学受験と並行して競技に向かい、地元インターハイを高校最後の大会とします。クロスカントリー伊藤そらは、天皇杯全日本選手権大会、インターハイ、国民体育大会、全国高校選抜大会、ＪＯＣジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選手権大会に出場します。「米沢興譲館」の名を背負い、全国の舞台で戦います。

◇山岳部

顧　問　菊地
　　伊藤謙
前部長　近野竜汰
現部長　白岩大和

山岳部は三年生四人、二年生六人、一年生七人、計十七人が所属しています。

春は新入部員を迎え、毎年笹野山に歓迎登山をします。登山競技は技術面と知識面の両方が必要とされます。そのため日々の部活動で登山技術や体力づくり、天気図などを描いたりして大会へと挑みます。

地区高校総体は豪士山で開催されました。ここで審査項目（登山中の服装や読図）などの改善点を見出しました。

夏合宿では鳥海山に行きました。県新人大会の会場でもありました。この合宿を通して計画の大切さを学びました。

地区新人大会では西大巓で開催されました。各種大会や合宿での経験を生かし、男女とも優勝することができました。

冬はボルダリングや雪上歩行訓練などで体力作りに励んでいます。これからも仲間と協力し楽しく活動していけるような部活動にしたいと思います。

◇水泳部

顧　問　石黒宏治
　　深谷健
前部長　田村悠輝
現部長　結城陽大

自己ベスト目指して

今年度の大会は久しぶりの男女同日程での開催となりました。チーム全員が一丸となって大会に挑むことができました。

大会では、全員が県大会出場、一年の上田一樹が東北大会出場という素晴らしい結果を残すことができました。自己ベスト更新を目指し各自練習に励み、その練習の成果を発揮することができました。また、大会で悔しい思いをすることもありましたがこれからの課題、目標をみつけることができました。

大会の引率をしてくださった顧問の先生方、いつも支えてくださる保護者の方々に感謝をしながらこれからもがんばりたいです。

◇バスケットボール部男子

顧　問　須嵜隆一
　　山口大輔
前部長　長嶋洸司郎
現部長　金子悠介

今年度、男子バスケットボール部は県ベスト８を目指して活動してきました。六月の県高校総体では、一回戦で東海大山形高校に敗れたものの、全力で臨む先輩方の姿から多くのこと学びました。

新チームとなり、よく考えるチームを目指して、夏季休業中には、アメリカの高校バスケ指導書を翻訳して読み、戦術・理解度を高めました。初めての公式戦として挑んだ九月のウィンターカップ予選、十一月の地区新人大会では、どちらも県大会への出場権を得ることができ

ず、悔しい結果となりましたが、これらの大会を通して、チームの課題を見つけることができました。

今後も県ベスト８達成に向けて、日々私達を支えてくださっている方々への感謝を忘れずに頑張ります。

◇バスケットボール部女子

顧問　小林啓明
前部長　村岡彩
現部長　遠藤汐莉
舟山凜

最後まで諦めない

今年度、女子バスケットボール部は部員二十二名で始動しました。地区高校総体では決勝戦を一点差で制し、目標にしていた地区優勝を果たすことができました。続く県高校総体では一回戦敗退という悔しい結果になりましたが、三年生の最後まで諦めない姿はチームに大きな感動を与えてくれました。三年生が作り上げてくださったチームは団結力が強く、笑顔が絶えない素敵なチームでした。

新チームでは、全ての地区大会優勝・県ベスト８以上を目標に掲げました。ウィンターカップ地区予選では三年生から受け継いだ諦めない気持ちで優勝を勝ち取ることができましたが、地区新人大会では準決勝で惜しくも敗れてしまいました。これらの勝利と敗北どちらの経験も活かし、応援してくださる方々への感謝の気持ちや仲間とともにバスケができることの喜びを大切にしながら、より一層強いチームになれるよう練習に励んでいきたいと思います。

◇バレーボール部

顧問　後藤由香
五十嵐康博
前部長　後藤駿斗
現部長　舟腰倫太郎

今年度、私たちバレーボール部は、三年生八名、二年生四名、一年生一名、マネージャー四名の、計十七名で活動してきました。レシーブでつなぎ、コンビで攻め続けるバレーを目指し、サーブカットやディグを中心に練習を続けてきました。

新体制になり、六人という少ない人数で効率よく練習を行い、何度もレシーブをして点を取る粘り強さを全員で意識しました。一人ひとりの技術力向上はもちろん、チームとしての総合力をさらに高めることを目標に日々の練習に励んでいきます。

保護者、ＯＢの方々からのご支援で、活動を続けていることに感謝し、その思いを結果という形で伝えられるように全力でプレーしていきます。

◇サッカー部

顧問　齋藤幸司
前部長　山口優
現部長　青木秀汰
渡邊信

今年度の反省と来年度の抱負

本校サッカー部の目標である「県大会出場・Ｙ１昇格」の実現に向け、今年度もチーム一丸となり日々の練習に取り組んできました。

春の地区高校総体は、毎試合厳しい戦いが強いられたものの粘り強いサッカーを展開し、三位で県大会に駒を進めました。そして迎えた県高校総体初戦の惺山高校戦、二回戦の新庄北高校戦、ともに強い気持ちで戦い抜き、県総体では二十五年ぶりとなるベスト８進出を果たしました。新チームに切り替わってからは、県リーグでの勝利に向けて準備を重ねたものの、Ｙ２リーグでなかなか結果を残すことができず、先輩方の存在の大きさを改めて痛感させられました。そのため、夏季の強化期間ではチームプレーの質や個々のスキルを高めるためのトレーニングを徹底して行い、チームとしての形を徐々に作り上げていきました。こうして迎えた地区新人大会、守備から入り勝ち切る試合を続け、六年ぶりに地区大会二位という結果を残すことができました。

今シーズンを終え、チームとしてやるべきことを共有するためにミーティングを行い、来春に向けての準備をスタートしました。残りの限られた時間を一人ひとりが大切にし、目標を忘れずに進んでいきます。

◇硬式野球部

顧問　吉田真悟
山下慶信
前部長　青木凰介
現部長　三浦友一

私たち野球部は「甲子園で校歌を歌う」という目標を達成するため、日々の部活動に取り組んでいます。今年の夏の大会の結果は三回戦敗退でしたが、三年生がチームを引っ張りプレーする姿は、新チームのこれ以上ない手本となりました。新体制で臨んだ秋季大会では、自分たちの弱点が浮き彫りになる試合となりました。これからの春、夏の大会では秋よりも一人一人が自立し、成長した姿をお見せできるように活動していきます。今後とも応援宜しくお願いします。

◇ソフトテニス部男子

顧　問　猪俣幸一
前部長　深谷健
現部長　小下健太
渡部裕大

個々の目指す姿

今年度、男子ソフトテニス部は三年生三名、二年生三名、一年生七名の計十三名で活動してきました。三年生は新型コロナウイルスによって多くの制限を余儀なくされてきましたが、最後の高校総体ではそれを感じさせない熱気を出し最後までプレーをしていました。その後ろ姿は新体制の我々にとって大きな勇気を与えてくれました。

三年生のいない十名で迎える様々な大会では自分が主役であるという心構えで臨みました。地区新人大会では、団体戦三位、個人戦の入賞はなく、悔しい結果となりました。地区だけではなく、県でも対等に戦えるようにプレーに磨きをかけていきたいと思います。

ご指導してくださる先生方をはじめ、さまざまな方々に支えていただきました。仲間とボールを打てることを大切にしながら、今後の部活動に精進していきます。

◇ソフトテニス部女子

顧　問　伊藤千紘
前部長　菅沼正
現部長　小関結子
　　梅津早哉香

女子ソフトテニス部は、三年生六名、二年生五名、一年生六名で活動してきました。限られた時間のなかで、「団体県ベスト８」の目標に向かって日々練習に取り組んでいます。県高校総体では、思うような結果は残せませんでしたが、今までの練習の成果を十分に発揮できたと思います。

新体制になってからは部員全員が時間を意識して、無駄を省く努力をするなど、様々な工夫を練習に取り入れました。新体制で初めて挑んだ県新人大会では二回戦敗退と目標には届きませんでした。しかし、新たな自分たちの弱点や通用するプレーを知ることができたこと、県と自分たちのレベルの差を感じたことで、部員の練習へのモチベーションが上がったことなど多くの収穫を得られた大会となりました。

来年度へ向けては、今まで以上に一球一球を大切にして練習に取り組んでいきたいです。

◇バドミントン部

顧　問　西部智広
　　佐藤好由
　　舟山知美
前部長　ランジェム彩葉
現部長　中川大成

今年度の活動

バドミントン部は今年度三年生十人、二年生十六人、一年生八人で活動を行いました。年度当初はコロナウィルスの影響により大会に参加できなくなり、不安の多いスタートとなりました。しかし、そのような状況でも一人ひとりが努力を積み重ね、地区高校総体では男女ともに団体優勝することができました。また、新人戦からは有観客となり、保護者をはじめとするたくさんの方々から応援をしていただきました。緊張もありましたが応援を力に変えて楽しんで試合をすることができ、五種目で優勝することができました。バドミントン部の活動を支えていただきありがとうございました。来年度は地区大会六冠を目標とし、県大会では今年度以上の活躍ができるように練習に励みたいと思います。

◇剣道部

顧　問　五十嵐弘一
　　松村宜典
前部長　保科魁
　　渋谷寧南
現部長　永岡世名
　　佐藤遼佳

活動報告

新入生を迎え、先輩という立場になった今年度、新型コロナウイルスによる制限も緩和され始め、少しずつ大会や練習試合の頻度が増えてきました。自分の剣道を試す絶好の機会が多く頂けてとても嬉しく思います。

三年生が引退し、先頭に立ってチームをまとめる立場になって、先輩に甘えていた部分を痛感しました。それでもなんとか二年生同士で支え合い、盛り上げていく中で、自分達で部活を創っていくという意識、大会に向けた雰囲気作りを行えたと思います。これからも、限られた稽古に集中し、もっと速く、もっと強く、もっとできる、と常に上を目指してベストの状態で試合に臨めるよう、興譲館らしい剣道を全うしていきます。

◇柔道部

顧　問　秋葉崇
前部長　荒井ゆり子
現部長　楊剛宇

今年度を振り返って

今年度、コーチをお迎えして三年生二

名、一年生三名で新たなスタートをきることができました。大会では技を出すことを意識して挑戦しました。試合後には振り返りをして、これから改善するべき部分を明確に捉えることができました。普段の練習では、大会で感じた筋力の差を埋めるための筋トレや、技の姿勢をより良いものにするための打ち込みを丁寧に行っています。また、技のバリエーションを増やし、何度も練習し、試合で使えるようにしてきました。置賜地区合同練習では、普段試合をしない人たちと練習をすることで新しい発見など良い経験をたくさんすることができました。今年度伸ばした部分を基盤に来年度は、より自分らしい柔道にしていきたいです。

◇弓道部

顧問　村上由樹
前部長　佐藤由惟
現部長　平吹雪羽
　　加藤沙也夏

いつもご支援ありがとうございます。今年度も多くの新入生を迎え、さらに活気あふれる部活動となりました。普段は、失敗したり方向性を見失ったりしたときにも、部員同士で支え合い、アイデアを出し合って、よりよい活動ができる環境を創るよう心掛けています。一人ひとりが自分の射に向き合い、切磋琢磨しながら努力してきたことで、大会では、最後まで粘り強く戦い、良い成績を収めることができました。また、弓道に対して一切妥協せず、精神的に辛い場面でも明るく前向きに取り組む三年生の姿を間近で見て、一・二年生も大きく成長できたと思います。今後は、これまで以上に団結を強めるとともに、仲間と弓が引けることに感謝しながら、一射一射に丁寧に取り組んでいきたいです。

◇卓球部

顧問　山口憲武
前部長　小野歩
現部長　近野稜太
　　佐原羽春

私たち卓球部は団体、個人戦共に地区優勝を目標に日々の練習に取り組んできました。三年生が引退してから今まで取り組んでいなかったミーティングを行うことで部員のメンタル面強化を図り、サーブの練習の時間を多めに取ることによって試合でのサーブミスを少なくしようとしました。

そして、新人戦を迎えました。女子団体三位、個人戦男女共に地区代表二人という結果でした。今回の大会では個人の強さはあるものの、団体としての総合力が他の高校に比べて足りないということがわかりました。これからの部活では、二年生が一年生に教える時間を設け、試合での緊張感に慣れるために練習でもリーグ戦を取り入れていきたいと思います。

◇フェンシング部

顧問　髙田和典
前部長　戸田顕崇
現部長　相田寿姫
　　髙橋里奈

チームの力

今年度も私たちフェンシング部は、東北大会、全国大会に出場するため日々の練習に励んできました。

県高校総体では、全員が自分の実力を発揮することができました。その結果、インターハイに女子団体フルーレと男子個人エペ、女子個人エペで出場しました。緊張の中でもいつも通りの実力を出さなければいけないという状況で、一人で戦おうとするのではなく、チームで役割を決めて全員で戦うことの大切さに気づきました。

これからは、東北選抜では全出場種目全国選抜の出場権を獲得、また来年度のインターハイ出場に向けて「チーム力」を高めていきたいです。

これからも指導してくださる顧問の先生方、先輩方、保護者の方々への感謝を忘れず日々頑張っていきたいと思います。

◇ホッケー部（男子）

顧問　小池公善
前部長　今崎徹郎
現部長　手塚剛大
　　渡加藤聖
　　部晴也

今年度、新人チームとなった私たち男子ホッケー部は「全国大会出場」を目標に掲げ、日々の練習を頑張っています。三年生が引退して、今までの活気あふれる雰囲気を取り戻すのには苦労しましたが、チーム全員が一丸となり部員同士が切磋琢磨し、ようやく良い雰囲気を作り上げることができてきました。新人チーム初めての公式戦である地区新人大会では、勝つことができず悔しい結果となりました。しかし、チームとしてそして個人個人がそれぞれの課題に向き合い、迎えた県新人大会では一人ひとりがベストを尽くし、初優勝を成し遂げることができました。これからは、この結果に満足せず、全国大会初出場をこの手で掴み取れるよう日々の練習に励んでいきたいと思います。

◇ホッケー部（女子）

顧問　手塚剛
前部長　山田江里子
現部長　加藤寧々

私達は、インターハイ出場を目標に練習に取り組んできました。高校から始めた者がほとんどの中でしたが、試合を重ねる度に自分達の成長を実感しました。東北大会まで出場しましたが、全国への目標には届きませんでした。世代が現二年生に移り、私達は改めてチーム作りの大変さを実感しました。チームメイトとぶつかりあいながら掲げた目標は、やはりインターハイ出場でした。高い実力が求められる事をわかったうえで、向かっていこうと決意しました。それもあって、新人の東北大会では、全国の可能性が見えた場面もありました。保護者、顧問の先生をはじめとした多くの方々の支えがある事を忘れず、万理一空の精神で頑張っていきます。

令和４年度置賜地区高等学校総合体育大会各競技学校対抗成績一覧

No.	種目名	男子 優勝	男子 2位	男子 3位	男子 3位
1	陸上競技	九里学園	米沢中央	**米沢興譲館**	
2	登山	米沢工業	**米沢興譲館**		
3	剣道	米沢工業	**米沢興譲館**	長井	高畠･置賜農業
4	柔道	米沢中央	米沢工業	置賜農業	
5	弓道	長井	**米沢興譲館**	米沢商業	
6	バスケットボール	米沢中央	米沢東	**米沢興譲館**	長井
7	バレーボール	米沢中央	長井	**米沢興譲館**	
8	サッカー	長井	米沢中央	米沢工業	
9	ソフトボール				
10	ソフトテニス	米沢中央	米沢工業	**米沢興譲館**	米沢東
11	卓球	**米沢興譲館**	九里学園	米沢工業	長井
12	バドミントン	**米沢興譲館**	九里学園	米沢工業	長井
13	フェンシング	高畠			
14	ホッケー	置賜農業	**米沢興譲館**		
15	テニス	米沢中央			

No.	種目名	女子 優勝	女子 2位	女子 3位	女子 3位
1	陸上競技	九里学園	米沢中央	**米沢興譲館**	
2	登山	**米沢興譲館**			
3	剣道	**米沢興譲館**	米沢東	高畠	
4	柔道	米沢中央			
5	弓道	**米沢興譲館**	米沢工業	米沢商業	
6	バスケットボール	**米沢興譲館**	九里学園	南陽	米沢東
7	バレーボール	米沢中央	九里学園	南陽	
8	サッカー				
9	ソフトボール	米沢中央	九里学園	長井	
10	ソフトテニス	長井	米沢商業	米沢工業	南陽
11	卓球	**米沢興譲館**	米沢東	長井	米沢工業
12	バドミントン	**米沢興譲館**	米沢商業	九里学園	長井
13	フェンシング	**米沢興譲館**	高畠		
14	ホッケー	米沢商業	**米沢興譲館**		
15	テニス	九里学園			

令和４年度置賜地区高等学校新人体育大会各競技学校対抗成績一覧

No.	種目名	男子 優勝	男子 2位	男子 3位	男子 3位
1	登山	**米沢興譲館**	米沢工業		
2	剣道	米沢中央	**米沢興譲館**	米沢工業	長井
3	柔道	米沢中央	米沢工業	置賜農業	
4	弓道	米沢商業	九里学園	**米沢興譲館**	
5	バスケットボール	米沢中央	南陽	米沢東	長井
6	バレーボール	米沢中央	長井	**米沢興譲館**	
7	サッカー	米沢中央	**米沢興譲館**	長井	
8	ソフトボール				
9	ソフトテニス	米沢中央	南陽	米沢工業	**米沢興譲館**
10	卓球	米沢中央	米沢工業	長井	九里学園
11	バドミントン	**米沢興譲館**	九里学園	米沢東	長井
12	フェンシング	高畠	**米沢興譲館**	米沢東	
13	ホッケー	置賜農業	**米沢興譲館**		
14	テニス				

No.	種目名	女子 優勝	女子 2位	女子 3位	女子 3位
1	登山	**米沢興譲館**			
2	剣道	米沢中央	**米沢興譲館**	米沢東･長井工業	
3	柔道	米沢中央	**米沢興譲館** 米沢工業		
4	弓道	**米沢興譲館**	九里学園	米沢工業	
5	バスケットボール	九里学園	米沢東	**米沢興譲館**	南陽
6	バレーボール	米沢中央	米沢東	南陽･長井工業	
7	サッカー				
8	ソフトボール	米沢中央	長井･米沢東･九里学園	南陽	
9	ソフトテニス	長井	米沢中央･長井工業	南陽	米沢工業
10	卓球	米沢中央	長井	**米沢興譲館**	米沢東
11	バドミントン	**米沢興譲館**	九里学園	長井	米沢東
12	フェンシング	**米沢興譲館**			
13	ホッケー	**米沢興譲館**	米沢商業		
14	テニス				

令和４年度大会・コンクール等の結果一覧

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
陸上競技	【男子】 200m　第７位　斎藤　遼真 800m　第４位　大木　和実 第５位　田村　玲音 1500m　第４位　井上　寛太 第５位　鈴木　悠斗 第７位　田村　玲音 5000m　第３位　鈴木　悠斗 第４位　安達　理人 第６位　和田　歩大 3000mＳＣ　第４位　安達　理人 第５位　佐藤　圭悟 第６位　佐藤　龍 5000mＷ　第４位　小野　陽平 第５位　佐藤　拓未 ４×100m　第７位 齋藤　遼真・我妻　凱陽 佐藤　優志・金子隆太郎 ４×400m　第３位 我妻　凱陽・加藤　碧人 金子隆太郎・大木　和実 三段跳　第４位　金子隆太郎 【女子】 100m　第４位　前田　実咲 400m　第６位　伊藤みつき 800m　第３位　平　ひより 1500m　第２位　舩山　明莉 第３位　平　ひより 第５位　安藤　結香 3000m　第２位　舩山　明莉 第３位　吉田　陽乃 第６位　小玉　萌美 ４×100m　第４位 前田　実咲・伊藤みつき 中川　綾菜・千葉　美優 ４×400m　第３位 伊藤みつき・平　ひより 前田　実咲・千葉　美優 走高跳　第２位　澤　悦菜 走幅跳　第２位　千葉　美優 三段跳　第２位　中川　綾菜 第４位　千葉　美優	【男子】 200m　出場　佐藤　英大 佐藤　優志 齋藤　遼真 400m　出場　我妻　凱陽 金子隆太郎 山口　暖斗 800m　準決勝　大木　和実 田村　玲音 出場　今　莉玖 1500m　出場　井上　寛太 田村　玲音 鈴木　悠斗 5000m　出場　鈴木　悠斗 安達　理人 和田　歩大 3000mＳＣ　決勝　安達　理人 出場　佐藤　圭悟 佐藤　龍 5000mＷ　決勝　小野　陽平 佐藤　拓未 ４×100m　出場 齋藤　遼真・我妻　凱陽 佐藤　優志・金子隆太郎 ４×400m　出場 吾妻　凱陽・井上　寛太 大木　和実・金子隆太郎 三段跳　決勝　金子隆太郎 【女子】 100m　準決勝　前田　実咲 400m　準決勝　伊藤みつき 出場　須藤　芽生 800m　準決勝　平　ひより 出場　大木明香里 須崎　志帆 1500m　決勝　舩山　明莉 出場　安藤　結香 平　ひより 3000m　出場　舩山　明莉 吉田　陽乃 小玉　萌美 ４×100m　出場 前田　実咲・伊藤みつき 中川　綾菜・千葉　美優 ４×400m出場 伊藤みつき・平　ひより 前田　実咲・澤　悦菜 走高跳　決勝　澤　悦菜 走幅跳　決勝　千葉　美優 三段跳　決勝　中川　綾菜 千葉　美優 七種競技　第４位　渡部向日葵	【男子】 400m　第５位　山口　暖斗 第６位　今　莉玖 800m　第３位　今　莉玖 第５位　山口　暖斗 第６位　佐藤　拓未 1500m　第４位　田村　玲音 第６位　和田　歩大 5000m　第２位　田村　玲音 第３位　和田　歩大 第５位　安達　理人 第６位　小野　陽平 3000mＳＣ　第３位　安達　理人 第４位　佐藤　龍 5000mＷ　第１位　小野　陽平 第２位　佐藤　拓未 ４×100m　第４位 加藤　碧人・佐藤　英大 山口　暖斗・我妻　凱陽 走幅跳　第４位　今　龍汰朗 三段跳　第５位　今　龍汰朗 【女子】 100m　第１位　前田　実咲 200m　第３位　前田　実咲 800m　第６位　須藤　芽生 1500m　第２位　安藤　結香 3000m　第１位　小玉　萌美 第３位　須崎　志帆 走高跳　第２位　澤　悦菜 走幅跳　第１位　千葉　美優 三段跳　第２位　千葉　美優	【男子】 5000mＷ　第４位　小野　陽平 東北大会　進出 第７位　佐藤　拓未 【女子】 100m　第６位　前田　美咲 100mＨ　第７位　渡部向日葵 走高跳　第８位　澤　悦菜 走幅跳　第４位　千葉　美優 東北大会　進出 三段跳　第６位　千葉　美優 七種競技　第３位　渡部向日葵 東北大会　進出	東北新人大会 ７種競技　第４位　渡部向日葵 県高校駅伝 【男子】第８位 ２時間33分11秒 １区　安達　理人 ２区　今　龍汰朗 ３区　田村　玲音 ４区　和田　歩大 ５区　山口　暖斗 ６区　佐藤　龍 ７区　佐藤　拓未 【女子】第８位 １時間30分59秒 １区　小玉　萌美 ２区　安藤　結香 ３区　渡部向日葵 ４区　須藤　芽生 ５区　須崎　志帆
硬式野球	１次予選 １回戦　対　九里学園　３－６ ２次予選 代表決定戦 対　長井　７－８		１次予選 １回戦　対　米沢中央　３－10 （８コ） ２次予選 １回戦　対　米沢工業　１－11 （６コ）		第104回全国高等学校野球選手権山形大会 ２回戦　対　鶴岡高専　11－３ （8コ） ３回戦　対　羽黒　０－10 （5コ） １年生大会（今年度より全県一斉） 予選　対　山形学院　０－14 （５コ）
バスケットボール	【男子】 １回戦 興譲館　60－59　南陽 準決勝 興譲館　26－115　米沢中央 ３位決定戦 興譲館　72－48　長井 よって、第３位。 第３代表で県高校総体出場。 【女子】 準決勝 興譲館　50－47　米沢東 決勝 興譲館　59－57　九里学園 よって、第１位。 第１代表で県高校総体出場。	【男子】 １回戦 興譲館　71－78　東海大学山形 【女子】 １回戦 興譲館　47－50　酒田光陵	【男子】 １回戦 興譲館　55－78　南陽 【女子】 準決勝 興譲館　79－83　米沢東 順位決定戦 興譲館　56－40　南陽 よって、第３位。 第３代表で県高校新人大会出場。	【女子】 １回戦 興譲館　38－83　山形学院	選手権大会地区予選 【男子】 １回戦 興譲館　59－62　米沢工業 【女子】 準決勝 興譲館　78－73　米沢東 決勝 興譲館　66－64　九里学園 よって、第１位。 第１代表で県予選出場。 選手権大会県予選 【女子】 １回戦 興譲館　０－20　山形商業 （不戦敗） 新型コロナウイルスのため出場辞退。
バレーボール	リーグ総当たり戦 興譲館　２－０ 置賜農業・長井工業合同 興譲館　２－０　米沢工業 興譲館　１－２　長　井 興譲館　０－２　米沢中央 第３位で県大会へ	１回戦 興譲館　２－０　上山明新館 ２回戦 興譲館　０－２　山形中央 ベスト16	リーグ総当たり戦 興譲館　２－０　米沢工業 興譲館　２－０ 置賜農業・長井工業合同 興譲館　０－２　米沢中央 興譲館　０－２　長井 第３位で県大会へ	１回戦 興譲館　０－２　山形学院	安部杯 リーグ総当たり戦　第３位 興譲館　１－２　長井 興譲館　０－２　米沢中央 興譲館　２－０　米沢工業

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
バレーボール				１回戦 興譲館　０－２　山形学院	全国高校選手権大会県予選会 興譲館　０－２　東海大山形 地区１年生大会　実施せず
サッカー	予選リーグ 対　長井工業　○４対１ 対　南陽　○４対１ 対　長井　●３対４ 予選リーグ　第２位 代表決定戦 対　高畠　○２対０ 第４位　県大会出場	１回戦 対　惺山　○３対２ ２回戦 新庄北　○３対２ ３回戦 対　東海大山形　●０対４ 県ベスト８	予選リーグ 対　九里学園　○３対０ 対　長井　○１対０ 対　南陽米商合同　●１対２ 予選リーグ第１位 決勝 対　米沢中央　●０対５ 第２位　県大会出場	１回戦 対　東海大山形　●０対４	第101回全国高等学校サッカー選手権大会山形県大会 ２回戦 対　酒田光陵　●０対３ 高円宮杯U-18サッカーリーグ 2022山形県リーグ　第８位 ２部Ａブロック １勝13敗０分　勝点３
卓球	【男子】学校対抗　第１位 県大会出場 １回戦　３－０　長井工業 準決勝　３－１　米沢工業 決勝　３－１　九里学園 【女子】学校対抗　第１位 県大会出場 １回戦　３－０　九里学園 ２回戦　３－１　長井 決勝　３－１　米沢東 【男子】ダブルス 第１位　佐原　羽春・丸子　健人 第３位　髙木　謙心・栗原　慶多 ベスト８ 上浦　英樹・小関　勝 ベスト16 石谷　一歩・近野　稜太 【女子】ダブルス 第１位　村山　佳南・田畑　湊 第３位　甲田彩香音・佐藤　釉 【男子】シングルス 第１位　佐原　羽春 第３位　近野　稜太、丸子　健人 ベスト８ 栗原　慶多 ベスト32 石谷　一歩、西長伸之助、 上浦　英樹 【女子】シングルス 第３位　田畑　湊 ベスト16 村山　佳南、甲田彩香音 ベスト32 須貝　凜 以上　個人戦県大会出場	【男子】学校対抗 １回戦　３－１　創学館 ２回戦　１－３　山形南 【女子】学校対抗 ２回戦　３－１　酒田東 ３回戦　０－３　酒田南 【男子】ダブルス ３回戦敗退 佐原　羽春・丸子　健人 １回戦敗退 石谷　一歩・近野　稜太 髙木　謙心・栗原　慶多 上浦　英樹・小関　勝 【女子】ダブルス ２回戦敗退 村山　佳南・田畑　湊 甲田彩香音・佐藤　釉 【男子】シングルス ４回戦敗退　佐原　羽春 ３回戦敗退　栗原　慶多 ２回戦敗退 近野　稜太、丸子　健人 １回戦敗退 石谷　一歩、西長伸之助、 上浦　英樹 【女子】シングルス ３回戦敗退　田畑　湊 ２回戦敗退　須貝　凜 １回戦敗退 村山　佳南、甲田彩香音	【男子】学校対抗 ２回戦　１－３　米沢中央 【女子】学校対抗　県大会出場 ２回戦　２－３　米沢中央 【男子】シングルス ベスト８ 佐原　羽春、丸子　健人 【女子】シングルス 第３位　佐藤　釉 ベスト16 田畑　湊 以上　個人戦県大会出場	【女子】学校対抗 １回戦　３－０　寒河江 ２回戦　１－３　酒田西 【男子】シングルス ３回戦　佐原　羽春、丸子　健人 【女子】シングルス ２回戦　佐藤　釉、田畑　湊	
ソフトテニス男子	団体 予選Ｂリーグ　②－１　長井工業 準決勝　１－②　米沢中央 第３位　全校県高校総体出場 個人 第１位　小下　健太・渡辺　裕大 第９位　尾崎　公亮・佐藤　俊輔 以上２ペア　県高校総体出場	団体 １回戦　０－③　山形中央 個人 小下　健太・渡部　裕大 ２回戦敗退 尾崎　公亮・佐藤　俊輔 １回戦敗退	団体 予選Ａリーグ　０－③　米沢中央 準々決勝　②－１　長　井 準決勝　１－②　南　陽 第３位　全校県高校新人出場 個人 第５位　佐藤　壮・渡辺　裕大 第９位　髙橋　陽人・石原　駿 第13位　髙橋　海斗・加藤　颯太 以上３ペア　県高校新人出場	団体 １回戦　０－③　山　形　南 個人 佐藤　壮・渡辺　裕大 ３回戦敗退 髙橋　海斗・加藤　颯太 ３回戦敗退 髙橋　陽人・石原　駿 ２回戦敗退	地区春季選手権大会　高等学校の部 コロナ関連で欠場 県春季選手権大会 少年の部(ダブルス) 尾崎　公亮・佐藤　俊輔 ３回戦敗退 小下　健太・渡辺　裕大 ２回戦敗退 髙橋　陽人・髙橋　海斗 １回戦敗退 国体地区予選 第１位　佐藤　壮・渡部　裕大 以上１ペア　県予選出場 国体県予選 佐藤　壮・渡部　裕大 ３回戦敗退 地区高校夏季リーグ大会 コロナ関連で欠場
ソフトテニス女子	団体 予選Ｂリーグ　０－③　長井高校 ２－１　長井工業 決勝トーナメント １－②　米沢商業 県高校総体出場 個人 小関　結子・梅津早哉香 大場菜々香・阿部　萌生 上記２ペア県高校総体出場	団体 １回戦　③－０　山形東 ２回戦　０－③　酒田南 ２回戦敗退 個人 小関　結子・梅津早哉香 １回戦敗退 大場菜々香・阿部　萌生 ２回戦敗退	団体 予選Ａリーグ　０－③　長井高校 ②－０　高畠 決勝トーナメント １－②　米沢工業 県高校総体出場 個人 阿部　萌生・梅津早哉香 西方　愛華・新藤　玲奈 田村　佳恋・二宮　菜緒 原　千夏・井上　琴都 上記４ペア県高校新人出場	団体 １回戦　②－１ 庄内総合・鶴岡東・鶴岡高専 ２回戦　０－③　山形商業 個人 阿部　萌生・梅津早哉香 西方　愛華・新藤　玲奈 田村　佳恋・二宮　菜緒 原　千夏・井上　琴都 １回戦敗退	県春季選手権大会 少年の部(ダブルス) 菅井　天花・中澤　玲 ２回戦敗退 梅津早哉香・原　千夏 １回戦敗退 国体地区予選 第３位　阿部　萌生・梅津早哉香 上記１ペア県予選出場 国体県予選 阿部　萌生・梅津早哉香 ２回戦敗退 地区高校夏季リーグ大会 予選Ａリーグ　第２位 ０－③　長井 ③－０　米工 決勝トーナメント １－②　米沢工業　１回戦敗退
柔道	県大会出場 【男子】個人 66kg級　髙橋　敬右　１回戦敗退 73kg級　楊　宇　棄権 81kg級　楊　剛　第２位	【男子】個人 66kg級　髙橋　敬右　１回戦敗退 73kg級　楊　宇　１回戦敗退 81kg級　楊　剛　１回戦敗退	【男子】個人 66kg級　髙橋　敬右　２回戦敗退 66kg級　楊　宇　２回戦敗退	【男子】個人 66kg級　髙橋　敬右　１回戦敗退 楊　宇　１回戦敗退	国体置賜地区予選　高校柔道大会 軽中量級 髙橋　敬右　１回戦敗退 楊　宇　１回戦敗退 52kg超63kg以下 板垣　涼子　予選免除

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
柔道	【女子】個人 63kg級　板垣　涼子　第３位 【男子】団体　棄権	【女子】個人 63kg級　板垣　涼子　１回戦敗退 【男子】団体　対　羽黒　敗退	【女子】個人 63kg級　板垣　涼子 １回戦敗退　第２位 【女子】団体　対　米沢中央 敗退　第２位	【女子】個人 63kg級　板垣　涼子 ２回戦敗退　第３位 【女子】団体　対　山形工業　棄権	国体山形県予選兼東北総体山形県予選 軽中量級 髙橋　敬右　１回戦敗退 楊　宇　２回戦敗退 52kg超63kg以下 板垣　涼子　２回戦敗退 全国高等学校柔道選手権大会山形県予選地区予選会 男子個人 66kg級　髙橋　敬右　２回戦敗退 楊　宇　１回戦敗退 【女子】個人 63kg級　板垣　涼子　棄権 【女子】団体　棄権 全国高等学校柔道選手権山形県予選大会 【男子】個人 66kg級　髙橋　敬右　１回戦敗退 楊　宇　１回戦敗退 【女子】個人 63kg級　板垣　涼子　１回戦敗退 【女子】団体　棄権 東北大学柔道部青葉杯優勝大会 優秀選手賞　楊　宇 【女子】個人優勝　板垣　涼子
剣道	【男子】団体　第２位 予選リーグ２位 （〇対　長井工業、×対　米工） 準決勝　〇対　長井 決勝　×対　米工 【女子】団体　第１位 （勝者数による） 決勝リーグ　〇対　高畠 ×対　米東 【男子】個人 第２位　竹下　恭平 第３位　綿貫　剛 【女子】個人 第１位　佐藤　遼佳	【男子】団体 予選Ｇリーグ ×対　酒田東 〇対　村山産業 〇新　庄北 結果　予選リーグ敗退 【女子】団体 予選Ｃリーグ 〇対　山形北 ×対　酒田東 ×対　山形東 結果　予選リーグ敗退 個人戦　最高２回戦敗退	【男子】団体　第２位 予選リーグ２位 （〇対長井工業、×対米沢中央） 準決勝　〇対　長井 決勝　×対　米沢中央 【女子】団体　第２位 決勝リーグ　〇対　米沢東・長井工業 ×対　米沢中央 【男子】個人 第１位　廣谷　翼 ベスト８ 永岡　世名、八巻晋太郎 県大会出場 松田　敏弥、梅津　櫂、渡部浩太朗 【女子】個人 ベスト８ 佐藤　遼佳、川﨑　愛奈	【男子】団体　ベスト８ 予選Ｃリーグ 対　鶴工・酒西　３：２　勝利 対　酒田東　３：０　勝利 決勝トーナメント 対　酒田光陵　０：２　敗退 【女子】団体　予選リーグ敗退 予選Ｄリーグ 対　山形北　２：１　勝利 対　鶴岡高専　５：０　勝利 対　山形城北　０：３　敗北 男女個人戦 ベスト16　廣谷　翼	置賜地区冬季高校剣道大会 魁星旗争奪全国高校剣道大会 出場予定
弓道	【男子】団体　第２位　80射27中 県大会出場 【男子】個人 第１位　梅津　昂征 ８射５中射詰競射　県大会出場 県大会出場権獲得者 梅津　大河　８射４中 【女子】団体　第１位　80射31中 県大会出場 【女子】個人 第３位　角田　萌 ８射５中遠近競射　県大会出場 県大会出場権獲得者 中島　悠希　８射５中 鈴木佐緒莉　８射５中 宍戸　里帆　８射４中 近野　流風　８射４中 平吹　雪羽　８射４中 伊藤　歩莉　８射４中 岩松　沙耶　８射４中	【男子】団体 予選　第４位通過　60射29中 決勝リーグ 対　山形南　〇９－６ 対　鶴岡工　×７－９ 対　東　桜　×５－12 対　山形工　〇10－９ 第３位　２勝２敗80射31中 東北選手権大会出場 【男子】個人 予選通過　梅津　大河　８射７中 予選敗退　梅津　昂征　８射４中 準決勝敗退 梅津　大河　４射２中 東北選手権大会出場　射詰競射 【女子】団体 予選　第４位通過　60射27中 決勝リーグ 対　鶴岡中　×９－10 対　山形東　×８－10 対　山形西　〇10－10 同中競射５－２ 対　天　童　〇11－10 第３位（射道優秀賞） ２勝２敗80射38中 東北選手権大会出場 【女子】個人 予選通過　鈴木佐緒莉　８射５中 岩松　沙耶　８射５中 予選敗退　宍戸　里帆　８射４中 近野　流風　８射４中 中島　悠希　８射４中 平吹　雪羽　８射４中 伊藤　歩莉　８射４中 角田　萌　８射２中 準決勝敗退 鈴木佐緒莉　４射１中 東北選手権大会出場　射詰競射 岩松　沙耶　４射１中	【男子】団体　第３位 40射10中射詰競射　県大会出場 【男子】個人 第３位　船山　諒 ８射４中遠近競射　県大会出場 【女子】団体　第１位 40射11中　県大会出場	【男子】団体　予選敗退　40射９中 【男子】個人 船山　諒　予選敗退　８射１中 【女子】団体　予選敗退　40射11中	全国高校選抜地区予選会 【男子】団体　第１位　36射15中 県大会出場 【女子】団体　第１位　36射13中 県大会出場 全国高校選抜県予選会 【男子】団体　予選敗退　24射５中 【女子】団体　予選敗退　24射６中 東北高校弓道選手権大会 【男子】団体　予選敗退　40射14中 【男子】個人　梅津大河 予選敗退　８射２中 【女子】団体　予選　第８位通過 40射16中 同中競射　対　橘（福島）〇３－２ 決勝トーナメント 対　盛岡市　×６－８ 【女子】個人　鈴木佐緒莉 予選敗退　８射３中 春季市民体育祭兼置賜地区大会 【男子】団体 第１位　五十嵐/鈴木/船山 24射８中 第２位　梅津/渡部/梅津 24射７中射詰競射 個人　第１位　五十嵐裕直 ８射５中射詰競射 第３位（技能賞）永井　聖人 ８射３中遠近競射 【女子】団体 第２位　鈴木/阿部/平吹 24射７中 個人　第１位　宍戸　里帆 ８射６中 第３位　近野　流風 ８射３中遠近競射 技能賞　平吹　雪羽 あやめ杯争奪弓道大会 【男子】団体　第３位　24射８中 【男子】個人　第３位　船山　諒 ８射４中遠近競射 米沢弓道連盟杯 【男子】個人　第３位　船山　諒 ８射４中遠近競射

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
					【女子】団体　第３位 21射９中射詰競射 【女子】個人　第４位　角田　萌 ８射４中遠近競射 米沢弓道連盟納会 高校男子個人 第３位　鈴木　稜世　８射４中 高校女子個人 第４位　佐藤　奈々　８射３中 遠近競射 技能賞　島貫　真瑚
山岳	【男子】団体 大会山域：豪士山 結果：第２位 チーム　A　B　C 読図　4/5　1/5　1.5/5 団体装備　5/5 個人装備　13/25　12/25　16/20 記録　2.5/5.0　3.5/5.0　2.5/5.0 体力　◎　◎　◎ 歩行　◎　◎　◎ 【女子】団体 大会山域：豪士山 結果：第１位 読図　4/5 団体装備　5/5 個人装備　19/20 記録　3.0/5.0 体力　◎ 歩行　◎	【男子】団体　行動隊②エントリー 大会山域：蔵王瀧山、熊野岳 結果：無事踏破 装備　4.0/5.0 天気図　2.0/4.0 知識審査　2.9/4.0 計画書　1.2/2.0 行動記録　1.0/2.0 読図　7.0/10.0 【女子】団体　行動隊②エントリー 大会山域：蔵王瀧山 結果：無事踏破 装備　4.5/5.0 天気図　3.2/4.0 知識審査　3.6/4.0 計画書　1.2/2.0 行動記録　1.6/2.0 読図技術　4.0/10.0	【男子】団体 大会山域：西吾妻(西大巌) 結果：第１位 チーム　A　B 読図　4/8　5.5/8 団体装備　4/5 個人装備　19/20　18/20 記録　3.5/5.0　3.5/5.0 体力　◎　◎ 歩行　◎　◎ 【女子】団体 大会山域：西吾妻(西大巌) 結果：第１位 読図　5/8 団体装備　3/5 個人装備　15/15 記録　4.75/5.0 体力　◎ 歩行　◎	【男子】団体　行動隊②エントリー 大会山域：鳥海山 (しらい自然館～1080m) 結果：無事踏破 装備　3.0/5.0 天気図　3.2/4.0 知識審査　2.6/4.0 計画書　0.6/2.0 行動記録　0.6/2.0 読図技術　6.0/10.0 マナー　5.0/5.0 【女子】団体　行動隊②エントリー 大会山域：鳥海山 (しらい自然館～1080m) 結果：無事踏破 装備　3.0/4.5 天気図　3.3/4.0 知識審査　2.8/4.0 計画書　0.8/2.0 行動記録　1.0/2.0 読図技術　3.0/10.0 マナー　5.0/5.0	
バドミントン	団体 【男子】 １回戦 対　南陽　３－０　勝利 準決勝 対　米沢工業　３－０　勝利 決勝 対　九里学園　３－１　勝利 第１位 【女子】 １回戦 対　米沢東　３－０　勝利 準決勝 対　九里学園　３－１　勝利 決勝 対　米沢商業　３－１　勝利 第１位 ダブルス 【男子】 齋藤　諒汰・佐藤　祐希　第１位 諸橋　京河・中川　大成　第５位 佐々　良太・本田　侑翔　第９位 西部　陽翔・小野　颯太　第９位 【女子】 梅津　里妃・早川美沙希　第２位 嵐田　実侑・大戸　郁実　第５位 シングルス 【男子】 西部　陽翔　第１位 齋藤　諒汰　第３位 諸橋　京河　第５位 【女子】 梅津　里妃　第２位 早川美沙希　第５位 後藤　莉子　第９位 大戸　郁実　第９位	団体 【男子】 １回戦 対　酒田南　３－０　勝利 ２回戦 対　山形学院　３－２　勝利 準々決勝 対　惺山　０－３　敗戦 ベスト８ 【女子】 １回戦 対　山形商業　２－３　敗戦 ダブルス 【男子】 齋藤　諒汰・佐藤　祐希 ベスト16 諸橋　京河・中川　大成 １回戦敗退 佐々　良太・本田　侑翔 １回戦敗退 西部　陽翔・小野　颯太 １回戦敗退 【女子】 梅津　里妃・早川美沙希 ２回戦敗退 嵐田　実侑・大戸　郁実 １回戦敗退 シングルス 【男子】 西部　陽翔　ベスト16 齋藤　諒汰　ベスト16 諸橋　京河　１回戦敗退 【女子】 梅津　里妃　２回戦敗退 早川美沙希　１回戦敗退 後藤　莉子　１回戦敗退 大戸　郁実　１回戦敗退	団体 【男子】 １回戦 対　米沢工業　３－０　勝利 準決勝 対　長井　３－０　勝利 決勝 対　九里学園　３－１　勝利 第１位 【女子】 準決勝 対　長井　３－１　勝利 決勝 対　九里学園　３－２　勝利 第１位 ダブルス 【男子】 西部　陽翔・齋藤　諒汰　第１位 佐々　良太・佐藤　祐希　第２位 中川　大成・小野　颯太　第３位 【女子】 梅津　里妃・早川美沙希　第２位 嵐田　実侑・大戸　郁実　第３位 シングルス 【男子】 西部　陽翔　第１位 齋藤　諒汰　第２位 中川　大成　第３位 【女子】 梅津　里妃　第１位 早川美沙希　第３位 大戸　郁実　第５位 以上県大会出場	団体 【男子】 １回戦 対　山形学院　３－０　勝利 準々決勝 対　惺山　２－３　敗退 ベスト８ 【女子】 １回戦 対　山形学院　０－３　敗退 ダブルス 【男子】 西部　陽翔・齋藤　諒汰　第３位 佐々　良太・佐藤　祐希 １回戦敗退 中川　大成・小野　颯太 ベスト16 【女子】 梅津　里妃・早川美沙希 ベスト16 嵐田　実侑・大戸　郁実 １回戦敗退 シングルス 【男子】 西部　陽翔　１回戦敗退 齋藤　諒汰　ベスト８ 中川　大成　１回戦敗退 【女子】 梅津　里妃　ベスト８ 早川美沙希　１回戦敗退 大戸　郁実　１回戦敗退	
フェンシング	【男子】 個人フルーレ 櫻井　快仁　第３位 個人エペ スワンテミンマウン　第２位 櫻井　快仁　第３位 【女子】 学校対抗　第１位 (興譲館５－１高畠) 個人フルーレ 相田　寿姫　第３位 個人エペ 髙橋　里奈　第１位 寒河江理名　第２位 個人サーブル 五十嵐舞衣　第３位	【男子】 学校対抗　第３位 個人エペ 櫻井　快仁　第２位 インターハイ出場 【女子】 学校対抗　第１位 インターハイ出場 個人エペ 相田　寿姫　第１位 インターハイ出場 髙橋　里奈　第２位 インターハイ出場 寒河江理名　第３位 個人フルーレ 相田　寿姫　第３位 髙橋　里奈　第４位 ※記載の者、全て東北大会出場	【男子】 学校対抗　第２位 個人フルーレ 藤田　健吾　第３位 個人エペ 坂本ダヴィ　第２位 藤田　健吾　第３位 【女子】 学校対抗　第１位 個人フルーレ 髙橋　里奈　第１位 寒河江理名　第２位 個人エペ 髙橋　里奈　第１位 寒河江理名　第２位 個人サーブル 五十嵐舞衣　第１位	【男子】 学校対抗　第２位 個人フルーレ 藤田　健吾　第３位 個人エペ 坂本ダヴィ　第１位 藤田　健吾　第２位 【女子】 学校対抗　第１位 個人フルーレ 髙橋　里奈　第１位 五十嵐舞衣　第３位 個人エペ 寒河江理名　第１位 髙橋　里奈　第２位 長嶋　夏穂　第３位 個人サーブル 五十嵐舞衣　第３位	第60回東北高校フェンシング選手権大会 女子学校対抗　１回戦敗退 個人フルーレ 髙橋　里奈　第７位 個人女子エペ 相田　寿姫　第７位 寒河江理名　第８位 第76回国民体育大会山形県予選会 少年女子フルーレ 寒河江理名　第１位 髙橋　里奈　第２位 インターハイ 女子学校対抗　１回戦敗退 個人男子エペ 櫻井　快仁　予選敗退 個人女子エペ 相田　寿姫　ベスト32 髙橋　里奈　ベスト64

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
フェンシング					第49回東北総合体育大会 少年男子　第５位（２勝３敗） 　寒河江理名、髙橋　里奈出場 ＪＯＣジュニアオリンピック・カップ・フェンシング大会 【男子】 カデエペ　坂本ダヴィ　出場 ジュニアエペ 　坂本ダヴィ　出場 【女子】 カデフルーレ 　髙橋　里奈　出場 カデエペ　山水　仁子　出場 　長嶋　夏穂　出場 ジュニアフルーレ 　五十嵐舞衣　出場 ジュニアエペ 　髙橋　里奈　出場 　寒河江理名　出場 第47回全国高等学校選抜大会フェンシング大会北海道・東北予選会 男子エペ団体　第２位 女子フルーレ団体　第３位 女子エペ団体　第１位 第47回全国高等学校選抜大会フェンシング大会 男子エペ団体　出場 女子フルーレ団体　出場 女子エペ団体　出場
ホッケー	【男子】 対　置賜農業　第２位 0 { 0－2, 0－0, 0－3, 0－2 } 7 【女子】 対　米沢商業　第２位 1 { 1－1, 0－1, 0－0, 0－1 } 3	【男子】 対　置賜農業　第２位 0 { 0－1, 0－1, 0－1, 0－2 } 5 【女子】 対　米沢商業　第２位 0 { 0－1, 0－0, 0－3, 0－0 } 4	【男子】 対　置賜農業　第２位 2 { 1－1, 1－0, 0－2, 0－0 } 3 【女子】 対　米沢商業　第１位 1 { 0－0, 0－0, 1－0, 0－0 } 0	【男子】 対　置賜農業　第１位 3 { 1－0, 1－0, 0－0, 1－0 } 0 【女子】 対　米沢商業　第１位 2 { 0－0, 1－0, 0－0, 1－1 } 1	第51回東北高校ホッケー選手権大会 【男子】　一回戦 対　不来方（岩手） 1 { 1－0, 0－0, 0－1, 0－1 } 2 【女子】　一回戦 対　沼宮内（岩手） 1 { 0－0, 0－0, 1－1, 0－1 } 2 令和４年度全国高等学校選抜ホッケー大会東北地区予選会 【男子】　一回戦 対　修明（福島） 0 { 0－3, 0－0, 0－1, 0－2 } 6 【女子】　一回戦 対　三沢（青森） 3 { 2－0, 0－0, 0－1, 1－0 } 1 【女子】　準決勝 対　築館（宮城） 0 { 0－1, 0－1, 0－1, 0－1 } 4 【女子】　第３位決定戦 対米沢商業（山形） 0 { 0－2, 0－3, 0－3, 0－2 } 10
水泳	【女子】 100m背泳ぎ　第２位　山川　結愛 200m個人メドレー 　第１位　山川　結愛 【男子】 50m自由形　第３位　田村　悠輝 　第７位　結城　陽大 100mバタフライ 　第２位　田村　悠輝 100m平泳ぎ　第２位　上田　一樹 　第４位　結城　陽大 200m平泳ぎ　第１位　上田　一樹	【女子】 100m背泳ぎ　第13位　山川　結愛 200m個人メドレー 　第12位　山川　結愛 【男子】 50m自由形　第31位　田村　悠輝 　第35位　結城　陽大 100mバタフライ 　第13位　田村　悠輝 100m平泳ぎ　第８位　上田　一樹 　東北大会出場 　第13位　結城　陽大 200m平泳ぎ　第７位　上田　一樹 　東北大会出場	開催無し	【競泳】 【女子】 100m背泳ぎ　第９位　山川　結愛 200m個人メドレー 　第13位　山川　結愛 【男子】 50m自由形　第22位　結城　陽大 100m平泳ぎ 　第６位　上田　一樹 　第９位　結城　陽大 200m平泳ぎ　第７位　上田　一樹	東北大会 【男子】 100m平泳ぎ　第44位　上田　一樹 200m平泳ぎ　第46位　上田　一樹

スキー	【県大会】 県高校総体・県高校スキー大会 男子スペシャルジャンプ　落合　創太　第２位 女子５kmフリー　伊藤　そら　第４位 女子５kmクラシカル　伊藤　そら　第２位 県スキー選手権大会（大学・一般を含む） 男子スペシャルジャンプ　落合　創太　第６位 女子５kmフリー　伊藤　そら　第３位 女子５kmクラシカル　伊藤　そら　第４位 国体スキー競技県予選会 少年男子スペシャルジャンプ　落合　創太　第４位 少年女子５kmクラシカル　伊藤　そら　第２位	【東北・全国大会】 第45回東北高等学校スキー選手権大会 女子５kmフリー　伊藤　そら 全日本選手権出場のため欠場 天皇杯　第101回全日本スキー選手権大会（大学・一般を含む） 女子10kmフリー　伊藤　そら　第62位 全国高校総体・第72回全国高等学校スキー大会 男子スペシャルジャンプ　落合　創太　今後出場 女子５kmフリー　伊藤　そら　今後出場 女子５kmクラシカル　伊藤　そら　今後出場 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会 少年女子５kmクラシカル　伊藤　そら　今後出場 第35回全国高等学校選抜スキー大会（ノルディック種目） 女子５kmフリー　伊藤　そら　今後出場 女子10kmクラシカル（マススタート） 伊藤　そら　今後出場 女子スプリント1.2kmクラシカル 伊藤　そら　今後出場 2023全日本ジュニアスキー選手権大会（ノルディック種目） 女子５kmフリー　伊藤　そら　今後出場 女子５kmクラシカル　伊藤　そら　今後出場	【その他の大会】 第33回全日本ローラースキー選手権大会 高校女子7.5kmフリー　伊藤　そら　第21位 高校女子7.5kmクラシカル　伊藤　そら　第21位 サマージャンプ2022山形蔵王大会 少年男子スペシャルジャンプ　落合　創太　第24位 第31回ローラースキー尾花沢大会 高校女子５kmフリー　伊藤　そら　第２位 2022全日本選抜木島平サマーノルディック大会 高校女子7.5kmフリー　伊藤　そら　第30位 2022全国ジュニアサマーノルディック大会IN鹿角 高校女子7.5kmクラシカル　伊藤　そら　第４位 第34回白滝北大雪クロスカントリースキー大会 女子５kmクラシカル　伊藤　そら　第11位 女子５kmフリー　伊藤　そら　第12位 第28回クロスカントリー名寄大会 女子５kmフリー　伊藤　そら　第61位 第34回田山クロスカントリー大会 女子５kmフリー　伊藤　そら　第８位 女子５kmクラシカル　伊藤　そら　第６位

部活動名	活動報告
美術	第30回南陽市えくぼ絵画展　新人賞：嵐田　冴子「感情移入」 第72回置賜地区美術展　特　選：遠藤天萌使「巨雲」　奨励賞：松井はんな「希望」　奨励賞：嵐田　冴子「表裏一体」 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会　出場　中川　梓「escapism」 第46回山形県高等学校総合文化祭　第70回山形県高等学校美術展　奨励賞：佐藤　楓華「curtain cll」　奨励賞：渡部　遥日「成長」　奨励賞：横澤　実莉「現実逃避」 第73回緑光会展　奨励賞：渡部　遥日「成長」 ミナミハラアートウォーク　部員全員で出品
吹奏楽研究	全日本吹奏楽コンクール置賜地区予選　優秀・代表 全日本吹奏楽コンクール山形県大会　銀賞 全日本アンサンブルコンテスト置賜地区予選　打楽器三重奏　金賞・代表 金管五重奏　金賞・代表 クラリネット四重奏　金賞・代表 全日本アンサンブルコンテスト山形県大会　打楽器三重奏　銀賞 金管五重奏　銀賞 クラリネット四重奏　銀賞 第57回定期演奏会（米沢市市民文化会館） その他、コンサートや出前ライヴ多数
新聞文芸	《新聞班》 第44回山形県高等学校新聞コンクール　優良賞 学校新聞「興譲」発行 《文芸班》 第21回山形県高校文芸コンクール　詩部門　佳作　鈴木　香奈 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会　文芸部門　短歌部門　出場　石井倖之介 第24回全国高等学校文化連盟北海道・東北文芸大会（秋田大会）　短歌部門　出場　石井倖之介 第46回山形県高等学校総合文化祭 文芸専門部庄内大会（酒田市）参加 令和４年度置賜地区高等学校文化連盟文芸専門部研修会（長井市）参加 文芸部誌「無限軌道」発行
ＣＳＳＣ（コアスーパーサイエンスクラブ）	・2021年度　グローバルサイエンスキャンパス　東北大学　探求型「科学者の卵養成講座」　研究基礎コース　最優秀賞　２年　安齋穂乃花 研究発展コース　研究発表賞　第２位　２年　安齋穂乃花 ・第2回やまがたAI甲子園（2022年３月26日開催） 探究テーマ賞　第１位　３年　井上　桃希・２年　喜多慎太朗・２年　後藤　穂果・２年　安齋穂乃花・２年　新野　暖仁 ・2022年度　グローバルサイエンスキャンパス　東北大学　みらい型「科学者の卵養成講座」 研究重点コース採択（2021年度 研究基礎コース修了→研究発展コースに進展し修了→2022年度研究重点コースに進展）　２年　安齋穂乃花 研究基礎コース採択　２年　坂上　陽哉・２年　佐藤　大空・１年　高橋　暁華・１年　横山　夢人・１年　新藤　匠杜 ・2022年度　グローバルサイエンスキャンパス　宇都宮大学「君が未来を切り拓く！～宇大の科学人材育成プログラム～（iP－U）」 基盤プラン修了（2021年度）→才能育成プランへ進展（2022年度）　２年　上野　能登 基盤プラン採択・修了　２年　硯里　陽介 ・2022年度　グローバルサイエンスキャンパス　神戸大学「“越える”力を育む国際的科学技術人材育成プログラム（ROOTプログラム）」　採択　２年　喜多慎太朗 ・グローバルサイエンスキャンパス 令和4年度全国受講生研究発表会 受講生投票賞「動物の捕食行動にかかわる遺伝子の研究　Studies on relationship between defensive behaviors of mouse and Feld4 polymorphisms in cat」 ２年　安齋穂乃花 ・第46回山形県高等学校総合文化祭　展示部門　科学専門部 ポスター発表　「アリの方向、視覚の認識における行動パターンの傾向」　１年　高橋　暁華 「アブラナ科の植物のアレロパシーの有無」　１年　二馬　良太 「伝統的建造物から学ぶ屋根の耐雪構造実験」　１年　横山　夢人 「清酒酵母の自然界からの単離とアルコール発酵効率の調査」　１年　新藤　匠杜 ・WRO Japan 2022 山形地区大会（県大会） レギュラーカテゴリーエキスパート部門シニア　第３位　２年　鑓水　大青・２年　遠藤　圭隼・２年　後藤　佳介 レギュラーカテゴリーミドル部門シニア　第７位　２年　大木　翔・２年　上野　能登・１年　高橋　暁華 レギュラーカテゴリーミドル部門シニア　第８位　１年　新藤　匠杜・１年　二馬　良太・１年　横山　夢人 ・マリンチャレンジプログラム2022北海道・東北大会 優秀賞　「白竜湖産コイのミトコンドリアDNAの簡易識別と新規プライマーの作成」　２年　佐藤　充朗・２年　佐藤　大空 ・ロールス・ロイスサイエンスキャンプ2022東京本選（予選約50チーム中２位、本選出場上位６チーム） アイデア賞　２年　上野　能登・２年　鑓水　大青・２年　遠藤　圭隼・２年　大木　翔・２年　太田　陽介・２年　後藤　穂果 ・超異分野学会 山形フォーラム2022 ポスター発表　「ゼーベック効果を用いた太陽光発電の高効率化」　２年　上野　能登 ・第22回環境甲子園　参加　「白竜湖産コイのmtDNAの簡易識別と環境DNAへの応用」　２年　佐藤　充朗・２年　佐藤　大空・２年　喜多慎太朗・２年　新野　暖仁 ・パソコン甲子園2022　プログラミング部門　予選・もうひとつの本選 参加　２年　上野　能登・２年　硯里　陽介・２年　後藤　佳介・２年　鑓水　大青・１年　横山　夢人・１年　新藤　匠杜 ・第22回日本情報オリンピック 敢闘賞（二次予選進出）　２年　硯里　陽介 一次予選　参加　２年　上野　能登

部活動名	活動報告
ＣＳＳＣ （コアスーパーサイエンスクラブ）	・第45回日本分子生物学会年会 口頭発表・ポスター発表 「ネコのFeld4遺伝子の多様性とマウスの防御応答の関係の解明」　２年　安齋穂乃花（東北大学　みらい型「科学者の卵養成講座」研究重点コース） 「形態と遺伝情報による白竜湖産コイ（*Cyprinus carpio*）の系統判別」　２年　佐藤　充朗・２年　佐藤　大空・２年　喜多慎太朗・２年　新野　暖仁 「山形県におけるキタノメダカ（*Oryzias sakaizumii*）とミナミメダカ（*Oryzias latipes*）の生息域調査および分布マップ作成」 ２年　安齋穂乃花・２年　坂上　陽哉・２年　硯里　陽介 ・令和４年度山形県探究型学習課題研究発表会　科学専門部の部 優秀賞（物理研究領域）「雪国仕様フレキシブル熱電変換素子を指向した新規半導体高分子の開発」　２年　遠藤　圭隼 →令和５年度全国高等学校総合文化祭自然科学部門　研究発表の部（物理部門）　出場決定 優秀賞（生物研究領域）「植物の環境応答と生体電位にかかわる研究」　２年　安齋穂乃花 →令和５年度全国高等学校総合文化祭自然科学部門　研究発表の部（生物部門）　出場決定 優良賞（化学研究領域）「錯体を用いた非天然アミノ酸のキラル識別」　２年　坂上　陽哉 ・2022年度ユネスコスクール東北ブロック大会 ポスター発表　「山形南部におけるキタノメダカ（*Oryzias sakaizumii*）とミナミメダカ（*Oryzias latipes*）の生息域調査および分布マップ作成」 ２年　安齋穂乃花　２年　硯里　陽介　２年　坂上　陽哉 ・サイエンスキャッスル2022東北大会 最優秀賞　「ゼーベック効果を用いた太陽光発電の高効率化」　２年　上野　能登 優秀賞　「環境DNAを用いたキタノメダカ（*Oryzias sakaizumii*）とミナミメダカ（*Oryzias latipes*）の生息域調査および分布マップ作成」 ２年　安齋穂乃花・２年　硯里　陽介・２年　坂上　陽哉 優秀賞　「ゼラチンを用いたDNA抽出法」　２年　硯里　陽介 優秀ポスター賞　「雪国仕様フレキシブル熱電変換素子を指向した新規半導体高分子の開発」　２年　遠藤　圭隼 ・第３回やまがたAI甲子園（2023年３月開催） 出場予定　２年　喜多慎太朗・２年　後藤　穂果・１年　横山　夢人 〈科学系講習会等への参加〉 ・イノベーター育成塾　所属　２年　安齋穂乃花・２年　大木　翔・２年　喜多慎太朗・２年　後藤　佳介・２年　坂上　陽哉・２年　佐藤　充朗・ ２年　硯里　陽介・２年　新野　暖仁・２年　上野　能登・２年　遠藤　圭隼・２年　太田　陽介・２年　後藤　穂果・ ２年　鑓水　大青・２年　佐藤　大空 ・やまがたAI部　所属　２年　喜多慎太朗・２年　後藤　穂果・１年　横山　夢人 ・山形大学スーパーエンジニアプログラミングスクール前期修了 ３年　井上　桃希・３年　原田　樹哉・２年　上野　能登・２年　遠藤　圭隼・２年　後藤　穂果 ・公益財団法人かずさDNA研究所主催「かずさの森のDNAキャンプ」参加　２年　安齋穂乃花 〈科学系ボランティア等への参加〉 ・美しい山形・最上川フォーラム主催「身近な川や水辺の健康診断」（水質調査・水生生物調査）１・２年全部員参加 ・2022青少年のための科学の祭典山形大会inやまぎん県民ホール　実験工作ブース運営　２年　上野　能登・１年　高橋　暁華・１年　二馬　良太・１年　新藤　匠杜 ・やまがた緑環境税活用事業「自然観察会（バードウォッチング）」１・２年全部員参加
ＳＳクラブ （スーパーサイエンスクラブ）	・2022年度　グローバルサイエンスキャンパス　東北大学　みらい型「科学者の卵養成講座」　研究基礎コース　２年　菅井　天花・２年　船山　諒 ・令和４年度　全国SSH生徒研究発表会 参加　「米沢の伝統野菜「ウコギ葉（*Acanthopanax sieboldianus*）」を利用した皮膚の常在菌に対する抗菌剤の開発」 ２年　秋葉　有咲・３年　遠藤　なお・３年　佐藤　俊輔 ・令和４年度　第12回科学の甲子園山形県大会出場 ２年　坂上　陽哉　２年　佐藤　充朗・２年　硯里　陽介・２年　情野　航生・２年　上野　能登・２年　小野　陽平・２年　堤　惇・２年　鑓水　大青 ・第18回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2022　第２チャレンジ2022全国大会　優良賞　３年　片倉叶多郎 ・令和４年度山形県探究型学習課題研究発表会　一般の部 優良賞（生物・地学）「山形県南陽市白竜湖におけるコイ（*Cyprinus carpio*）の系統判別」 ２年　佐藤　充朗・２年　佐藤　大空・２年　喜多慎太朗・２年　新野　暖仁 優良賞（地域課題）　「Okitama Gender Innovation ～from young generation～」　２年　石井倖之介　２年　髙橋　優菜 ・2022年度ユネスコスクール東北ブロック大会 優秀賞　「新素材セルロースナノファイバーの乾燥及び復元方法の模索」　２年　小野　陽平・２年　遠藤　圭隼・２年　梅津早哉香・２年　太田　陽介 ポスター発表　「興譲館における批判的思考力の測定尺度の作成」　２年　齋藤　誉生・２年　須藤　龍星・２年　菊地　悠・２年　安藤　純花 ・令和４年度東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会 口頭発表　「セルロースナノファイバーの乾燥と復元に係る方法の開発」　２年　遠藤　圭隼・２年　梅津早哉香・２年　太田　陽介・２年　小野　陽平 「ウコギ葉（*Acanthopanax sieblianum*）のグラム陰性菌への抗菌効果の活用」　２年　阿部　萌生・２年　菅井　天花 ・第45回日本分子生物学会年会 口頭発表・ポスター発表　「高等学校探究型学習のための自作サーマルサイクラーの開発」 ２年　上野　能登・２年　平　翔雅・２年　渡部　晴也・２年　永岡　世名・２年　船山　諒 ・山形大学スーパーエンジニアプログラミングスクール 前期修了 ３年　齋藤　遼真・３年　高野　祥・３年　竹下　恭平・３年　市川　晴琉・３年　梅津　大河・３年　後藤　優月・３年　長嶋洸司郎・２年　中澤　玲 ２年　原田　陸玖・２年　梅津日菜子・２年　永岡　世名 ・東北大学「もしも君が杜の都で天文学者になったら」参加・研究発表（全国12名）　２年　梅津日菜子 ・日本オーチス・エレベータ株式会社主催「Made to Move Communities グローバル・スチューデント・チャレンジ」 日本代表として出場予定 ２年　新野　暖仁・２年　嵐田　倖永・２年　上野　能登・２年　鈴木　芽依・１年　今　龍汰朗・１年　須﨑　志帆・１年　髙橋　暁華・１年　二馬　良太・ １年　横山　夢人・１年　新藤　匠杜 ・中高生向け地域課題解決型やまがたイノベーションプログラム2022 「紅花を活用した米沢市の温泉街の活性化」 努力賞　２年　今村　涼乃・２年　舟山　凜・２年　山木　咲々・２年　鑓水　菊子・２年　田中　暖乃・２年　早川美沙希 ・MIYIO2022（Malaysia International Young Inventors Olympiad 2022）　銅賞　３年　吉田　陽乃・３年　秋葉　有咲・３年　遠藤　なお・３年　金子　望愛
ＥＳＳ	令和４年度山形県高校生英語ディベート大会　３位 令和４年度第17回全国高校生英語ディベート大会オンライン出場
音楽	第56回置賜地区高等学校合唱祭（白鷹町文化交流センター　あゆーむ） さんゆうデイサービスセンター通りゃんせ　訪問演奏ボランティア ふれあいいきいきサロン　演奏ボランティア（米沢市中部コミュニティセンター） 第57回置賜地区高等学校合唱祭（米沢市民文化会館） 第33回山形県声楽アンサンブルフェスティバル（荘銀タクト鶴岡）奨励賞
その他	・第74回東南置賜支部中学校・高等学校英語弁論大会 高等学校の部 第１位　嵐田　倖永 第２位　袴田　か葉 ・第74回山形県中学校・高等学校英語弁論大会 高等学校の部 第２位　嵐田　倖永（東北大会出場） クリエイティビティ・プライズ　袴田　か葉 ・全日本高校教育模擬国連大会　初心者議場優秀賞　石井倖之介、寒河江美言 ・全日本高校模擬国連大会　参加　石井倖之介、寒河江美言、嵐田　倖永、村上　冬羽 ・米沢市多言語スピーチコンテスト 優勝（英語部門）　袴田　か葉 準優勝（韓国語部門）　髙橋　優菜

令和３年度　体育文化後援会　決算書

収入の部　（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

項目	予算額	決算額	増減	備考
一般会費	8,657,000	8,660,600	3,600	1年：17,000円×195名2～3年：14,000円×385名(転学者等△44,400円)
特別会費	408,000	408,000	0	年額　8,000円(教職員)　予算人数51名
賛助会費	1,000,000	1,170,000	170,000	賛助会員
繰越金	3,597,390	3,597,390	0	令和2年度会計より※内1,155,000円は会費預かり分(1・2年生)
合計	13,662,390	13,835,990	173,600	

支出の部

項目		予算額	決算額	増減	備考
事業費	上級大会派遣費	4,600,000	2,987,830	△ 1,612,170	県大会以上・コンクール
	参加料	650,000	592,100	△ 57,900	県大会以上参加料
	強化費	2,300,000	647,800	△ 1,652,200	遠征・合宿補助
	強化指導費	2,000,000	1,207,255	△ 792,745	生徒引率旅費
	施設整備費	1,700,000	1,700,000	0	油縁・トレーニング機器・製氷機・生徒自治会室 網戸工事 他
	奨励費	160,000	160,000	0	懸垂幕・台布　他
	応援活動費	500,000	77,000	△ 423,000	甲子園予選会応援バス
	小計	11,910,000	7,371,985	△ 4,538,015	
運営費	会議費	10,000	1,468	△ 8,532	各会議補助
	事務費	60,000	60,000	0	郵送料・振込手数料・体文封筒 他
	印刷費	300,000	263,120	△ 36,880	会報印刷代
	渉外費	60,000	0	△ 60,000	
	人件費	1,042,000	933,524	△ 108,476	団体職員人件費
	使用料	80,000	79,200	△ 800	AEDレンタル料
	小計	1,552,000	1,337,312	△ 214,688	
予備費		200,390	191,403	△ 8,987	香典・レタックス・施設整備費補助 他
返金		0	429,000	429,000	コロナ自粛等による会計残からの会費返還(3学年・転学者等・教職員)
合計		13,662,390	9,329,700	△ 4,332,690	

令和４年度　体育文化後援会　予算

収入の部　（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

項目	本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備考
一般会費	9,094,000	8,657,000	437,000	1年：17,000円×197名(保護者)2･3年：15,000円×383名(保護者)
特別会費	400,000	408,000	△ 8,000	教職員：8,000円×50名
賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	賛助会員
繰越金	4,506,290	3,597,390	908,900	令和3年度会計より令和3年度1・2年生返金分を含む
雑収入	0	0	0	
合計	15,000,290	13,662,390	1,337,900	

支出の部

項目		本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備考
事業費	上級大会派遣費	4,600,000	4,600,000	0	県以上大会・コンクール
	参加料	700,000	650,000	50,000	県以上大会・コンクール等参加料
	強化費	2,500,000	2,300,000	200,000	遠征・合宿補助
	強化指導費	2,100,000	2,000,000	100,000	生徒引率旅費　顧問登録料コーチ謝礼
	施設整備費	2,000,000	1,700,000	300,000	備品費・修繕費他
	奨励費	260,000	160,000	100,000	懸垂幕・生徒表彰他
	応援活動費	500,000	500,000	0	応援補助
	小計	12,660,000	11,910,000	750,000	
運営費	会議費	10,000	10,000	0	各会議経費
	事務費	100,000	60,000	40,000	事務用品・郵送料・振替手数料
	印刷費	300,000	300,000	0	会報印刷代
	渉外費	60,000	60,000	0	会長等役員(旅費・参加費)
	人件費	1,042,000	1,042,000	0	団体職員人件費
	使用料	80,000	80,000	0	セコムAEDレンタル代1ヶ月使用料\6,600×12ヶ月分他
	小計	1,592,000	1,552,000	40,000	
予備費		748,290	200,390	547,900	
合計		15,000,290	13,662,390	1,337,900	

決算額

収入額 13,835,990　－　支出額 9,329,700　＝　残額 4,506,290　（次年度へ繰越）

米沢興譲館高等学校体育文化後援会規約

（名称・事務局）

第一条　本会は、米沢興譲館高等学校体育文化後援会（以下「本会」という）と称する。

二、本会の事務局を米沢興譲館高等学校（以下「本校」という）内に置く。

（目　的）

第二条　本会は、本校における部活動をはじめとする、体育文化活動の振興及び発展を図ることを目的とする。

（事　業）

第三条　本会は、第二条の目的を達成するために、次の事業を行う。

（一）本校の体育文化活動の振興及び発展のために必要と認める事業。

（二）その他本会の目的達成のために必要な事業。

（組　織）

第四条　本会は、保護者（一般会員）及び、教職員（特別会員）、ＯＢ・ＯＧ等本会の目的に賛同する者（賛助会員）を以て組織する。

（役　員）

第五条　本会に会長（一名）、副会長（三名）、理事（六名）、幹事（七名）、監事（二名）の役員を置く。

二、役員の任期は一年とする。但し再任を妨げない。

（役員の選出）

第六条　役員は下記により選出し、総会の承認を得ることとする。

（一）会長は、理事会で選出する。

（二）副会長は、校長、教育振興会会長及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された一名がこれにあたる。

（三）理事は、教育振興会副会長三名（一・三学年の部会長、教頭）及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された三名がこれにあたる。

（四）幹事は、教頭、事務部長、生徒課長、総務課長、保護者一名（二学年）及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された二名がこれにあたる。

（五）監事は、保護者二名（一・三学年各一名）がこれにあたる。

（役員の任務）

第七条　役員の任務は次の通りとする。

（一）会長は会務を統括し、本会を代表する。

（二）副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。

（三）理事は本会の運営について審議する。

（四）幹事は会務の企画、立案、執行にあたる。

（五）監事は本会の事業並びに会計を監査する。

（顧　問）

第八条　本会に顧問を置くことができる。

二、顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

（事務局）

第九条　事務局は、会長委嘱による事務局員で構成し、日常業務を処理する。

（会　議）

第十条　本会の会議は総会、理事会、幹事会とする。

（一）総会は年一回召集し、役員の承認、予算・決算の承認、規約の改正、その他必要事項を議決する。また、必要あるときは臨時総会を召集することができる。

（二）理事会、幹事会は必要に応じて随時会長が召集し、総会に提出する議案に関すること、本会の運営に関すること、その他必要事項を審議する。

（三）理事会は会長、副会長、理事で構成する。

（四）総会及び理事会の議長は会長が務める。

幹事会の議長は教頭が務める。

（経　費）

第十一条　本会の経費は、一般会員会費、賛助会員会費、その他の収入を以てこれにあてる。

（一）各会員の会費は次の通りとする。

一般会員（保護者）一七、〇〇〇円

特別会員（教職員）　八、〇〇〇円

賛助会員（原　則）一〇、〇〇〇円以上

（二）一般会員が「山形県立高等学校の授業料等徴収条例」第八条の授業料の減免に該当したときは会費を減免できるものとする。ただし、納付済みのものについてはこれを行わない。

（会計年度）

第十二条　本会の会計年度は毎年四月一日から翌三月三十一日までとする。

〔付　則〕

本会の規約は、次のとおり制定・改正する。

昭和三十二年九月十九日制定

昭和四十年六月一日改正

昭和四十五年十二月五日改正

昭和四十九年五月十五日改正

昭和五十一年三月二十四日改正

平成三年三月一日改正

平成四年五月二十二日改正

平成十五年四月二十六日改正

平成二十年四月二十八日改正

平成二十四年四月二十六日改正

平成三十一年四月二十五日改正

令和四年度 体育文化後援会役員

顧　問　駒形　衛　土澤　幸雄　内藤　文徳

会　長　小島長五郎

副会長　曽根　伸之（校長）　鑓水　伸一（二学年）　宗川　真希

理　事　漆山　裕（三学年）　安部　徳朗（一学年）　中村　純一（教頭）　遠藤　岩根　我妻　弘一　原田　正夫

幹　事　中村　純一（教頭）　四柳　雅彦（事務部長）　手塚　剛（生徒課長）　佐藤　好由（総務課長）　後藤　喜彦（二学年）　鈴木　基　鈴木　文雄

監　事　宍戸　俊文（三学年）　酒井　仁（一学年）　猪俣　幸一（職員）

事務局長　山口　英雄（職員）

事務局　戸田　顕崇（職員）　小池　公善（職員）　秋葉　崇（職員）　伊藤　謙汰（職員）　佐々木綾子（職員）　古山　広美（職員）

賛助会員名簿

（敬称略順不同・令和５年２月16日現在）

遠藤岩根　米沢市
尻高邦夫　米沢市
柿崎悦子　米沢市
㈱ヤリミズ自動車　米沢市
㈱川島印刷　米沢市
小野隆夫　米沢市
中條医院　中條明夫　米沢市
㈱吾妻スポーツ　米沢市
㈲肉のさかの　米沢市
山交観光㈱米沢案内所　米沢市
内藤文徳　米沢市
鈴木歯科医院　米沢市
あさひ歯科医院　鈴木基　米沢市
ハヤシ薬局　米沢市
（医）さの医院　佐野隆一　米沢市
税理士法人豊代表社員　土田一成　米沢市
㈱フーディー　米沢市
（医）大道寺医院　米沢市
（特非）赤とんぼ　山口征一　米沢市
（医）田中クリニック　田中雄二　米沢市
（医）杏山会理事長　吉川順　長井市
山口晃（S・49年卒）　新潟県新潟市

㈱小嶋総本店　米沢市
㈱植杉造園代表取締役　吉田耕一　米沢市
齋藤榮助　米沢市
黄木脳神経クリニック　黄木正登　米沢市
中條良文　米沢市
㈱西方商店　米沢市
（医）産婦人科島貫医院　島貫洋人　米沢市
酒井耳鼻咽喉科医院　酒井仁　米沢市
佐藤歯科医院　佐藤充弘　白鷹町
㈲ヨネザワバス観光代表取締役　鈴木清一　米沢市
㈲毘龍レンタカー　米沢市
（一財）三友堂病院理事長　仁科盛之　米沢市
㈱殖産工務店代表取締役　伊藤一壽　川西町
セブンイレブン　米沢杉の目町店　米沢市
千代田電工株式会社　米沢市
本田貞夫　米沢市
㈱一文字屋　米沢市
㈱本多建設代表取締役　本多作之助　米沢市
土澤幸雄　米沢市
㈲キョウドウ印刷代表取締役　石川陽右　米沢市
㈱遠藤書店　米沢市
猪口春夫　米沢市

堀内織物㈲　米沢市
山水克美　南陽市
太田建設㈱　米沢市
㈱振興電気代表取締役　鈴木雄一　米沢市
㈱米沢自動車学校　米沢市
（医）積仁会松下クリニック理事長　松下靖　長井市
我妻建設工業㈱代表取締役　我妻弘一　米沢市
駅前最上接骨院　米沢市
米沢信用金庫　米沢市
粉雪の海賊団　米沢市
くまの歯科医院（熊野裕仁）　米沢市
県南自動車学校　高畠町
㈲ナカタ薬局　中村紘一　米沢市
㈱米沢牛黄木代表取締役　黄木修太郎　米沢市
㈱後藤組　米沢市
三條貞夫　米沢市
林歯科医院　林隆一　米沢市
マツキドライビングスクール米沢松岬校　米沢市
日本防災工業㈱　米沢市
（医）くまの医院理事長　熊野仁昌　米沢市
㈱エービーエム　米沢市
㈱平山孫兵衛商店　米沢市
上杉城史苑　米沢市
㈲山木鈴木商店代表取締役　鈴木実　米沢市
相馬写真館　米沢市
㈲三愛サービス　米沢市

東武トップツアーズ㈱　山形支店　山形市
東北警備保障㈱代表取締役　武田誠一郎　米沢市
中山裕一　米沢市
金子建設工業株式会社代表取締役　金子尚人　米沢市
かねしめ水産㈱代表取締役　齋藤隆夫　米沢市
宗川真希　米沢市
高橋歯科医院　高橋誠　米沢市
ホテルモントビュー米沢　米沢市
㈱データシステム米沢　米沢市
㈱ナウエル代表取締役　酒井登　米沢市
㈱小島洋酒店　米沢市
㈲今村タクシー代表取締役　今村元一　米沢市
サッカー部ＯＢ会
弓道部後援会
興譲館柔道部ＯＢ・ＯＧ会
興譲館野球部ＯＢ会
米興羽会（バドミントンＯＢ会）
バスケットボール部ＯＢ・ＯＧ会
興庭会（ソフトテニスＯＢ会）
吹研ＯＢ会

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました。